

3 - 2 . 「 3 日間調査 」 の結果概要

(1) 産業別流動量・流動ロット

1) 発産業業種別流動量・流動ロット

「 3 日間調査 」 (2000年 1 0 月 1 7 日 ~ 1 9 日 の 3 日間) の流動量は、重量 2,769 万トン、件数 1,596 万件である。流動ロット (流動 1 件当たりの貨物出荷重量) は 1.73 トンであり、 9 5 年調査と比較して 18.8% の減少となった (図 3 - 2 - 1 , 2) 。

発産業別流動量・流動ロット

発産業の構成は、重量ベースでは製造業 (61.8%) が最も多く、以下、卸売業 (15.4%)、鉱業 (15.0%)、倉庫業 (7.9%) の順である。一方、件数ベースでは、卸売業 (54.0%) が最も多く、次いで製造業 (41.3%) であり、この 2 産業で全体の 95.3% を占める。

発産業別に流動ロットをみると、最も大きいのは鉱業 (69.00 トン) であり、以下、倉庫業 (3.19 トン)、製造業 (2.59 トン)、卸売業 (0.49 トン) の順となり、 9 5 年調査と比較すると、 4 産業すべてにおいて流動ロットが減少している (図 3 - 2 - 1 , 2) 。

流動量の発業種構成

発産業別の発業種構成を重量ベースでみると、鉱業では非金属が 99.2% を占める。製造業では、最も多いのが窯業・土石製品 (43.7%) であり、以下、石油製品・石炭製品 (13.0%)、鉄鋼 (9.4%) の順となり、卸売業では建築材料 (40.7%)、鉱物・金属材料 (11.6%)、食料・飲料 (10.8%) の順となる。倉庫業では 1・2・3 類 (60.2%) が最も多い。

件数ベースでみると、重量ベースと比較して流動ロットの小さい業種の占める割合が高くなっている。製造業では、最も多いのが食料品 (15.7%) であり、以下、金属製品 (11.2%)、窯業・土石製品 (9.3%) の順となる。卸売業では、機械器具 (24.4%)、その他卸売業 (13.6%)、食料・飲料 (12.1%) の順となる (図 3 - 2 - 3) 。

注) 「 3 日間調査 」 では各事業所の出荷貨物について、「出荷日、出荷品目、着業種、届先地、届先施設、代表輸送機関等が同一なもの」を一括して流動 1 件として捉えている。例えば、燃料用の重油が同じ日に、同一工場へ何台かのタンクローリーで輸送されてもそれは流動 1 件として数える。このため、輸送機関の容量に制限されない貨物本来の輸送単位として流動ロットをみることができる。

図3-2-1 流動量の発産業構成

(3日間調査 単位：千トン，千件，%)

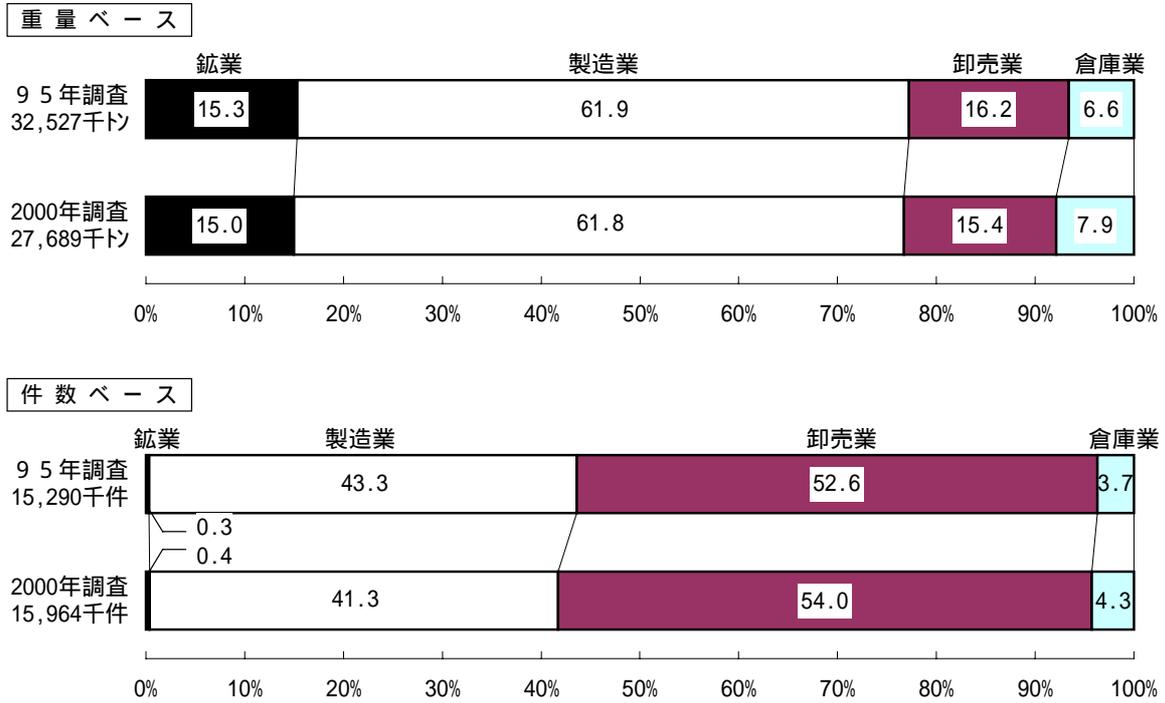


図3-2-2 発産業別流動ロット

(3日間調査 単位：トン/件)

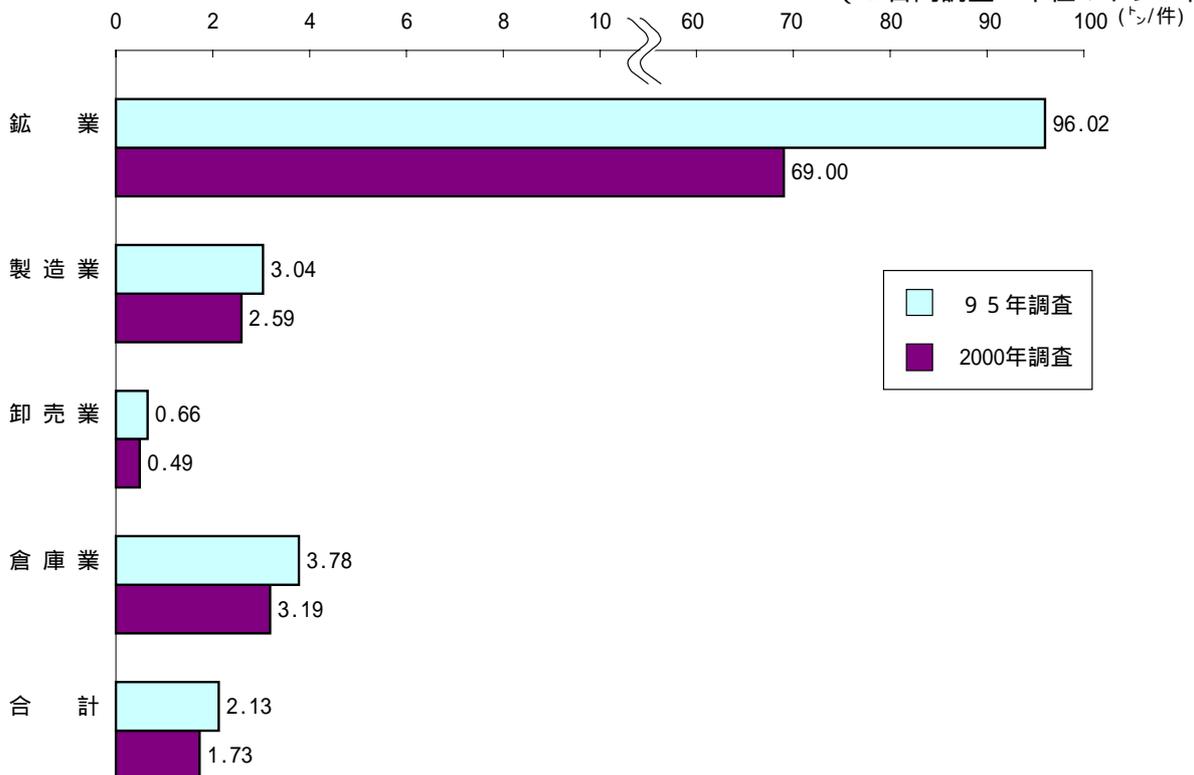
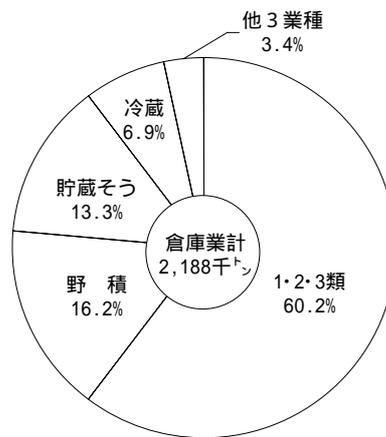
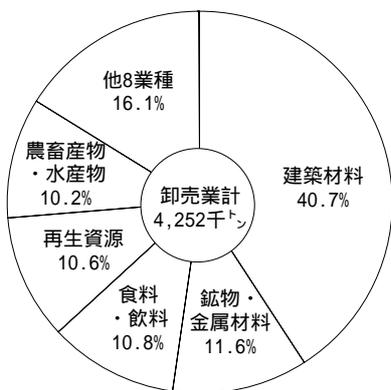
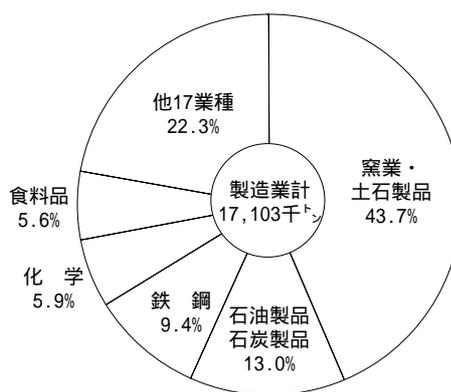
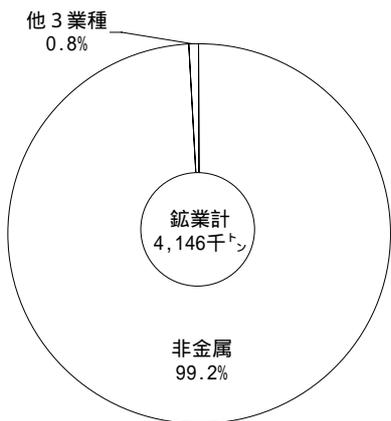


図3-2-3 発産業別にみた発業種構成

(3日間調査 単位：千トン,千件,%)

重量ベース



件数ベース

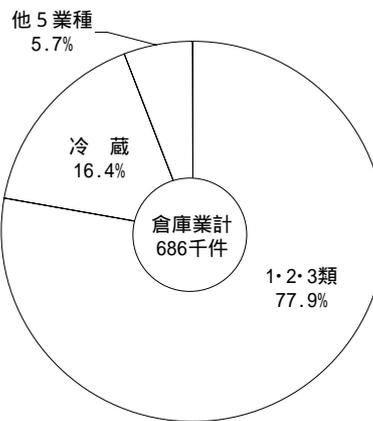
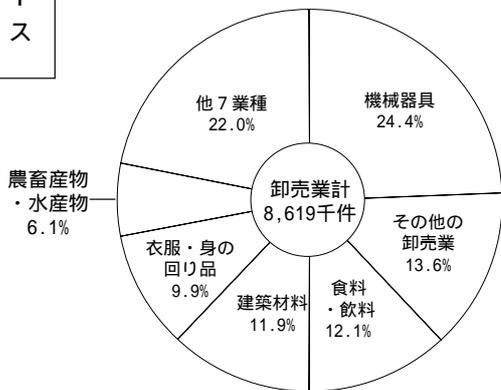
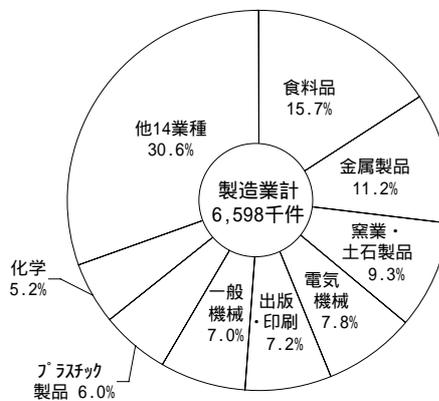
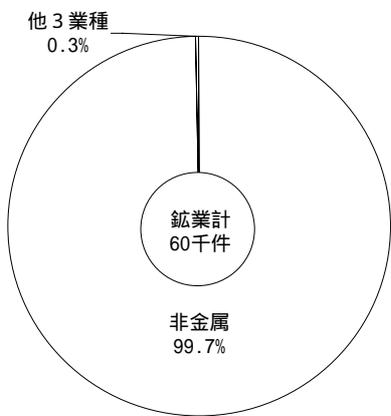


表3 - 2 - 1 発産業業種別流動量・流動ロット

(3日間調査 単位：トン，件，%，トン/件)

発産業業種	流動量(重量)		流動量(件数)		流動ロット	
		構成比		構成比		
鉱業	金 属	8,428	0.0%	18	0.0%	476.44
	石 炭 ・ 亜 炭	24,496	0.1%	29	0.0%	841.57
	原 油 ・ 天 然 ガ ス	2,224	0.0%	141	0.0%	15.77
	非 金 属	4,110,986	14.8%	59,901	0.4%	68.63
	計	4,146,134	15.0%	60,089	0.4%	69.00
製造業	食 料 品	960,399	3.5%	1,035,181	6.5%	0.93
	飲 料 ・ 飼 料 ・ た ば こ	466,795	1.7%	160,022	1.0%	2.92
	織 維	51,848	0.2%	153,336	1.0%	0.34
	衣 服 ・ そ の 他 織 維 製 品	20,805	0.1%	275,750	1.7%	0.08
	木 材 ・ 木 製 品	315,255	1.1%	139,623	0.9%	2.26
	家 具 ・ 装 備 品	52,239	0.2%	126,599	0.8%	0.41
	パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品	521,580	1.9%	292,661	1.8%	1.78
	出 版 ・ 印 刷	162,046	0.6%	473,422	3.0%	0.34
	化 学	1,012,968	3.7%	340,932	2.1%	2.97
	石 油 製 品 ・ 石 炭 製 品	2,223,236	8.0%	58,503	0.4%	38.00
	プ ラ ス チ ッ ク 製 品	233,383	0.8%	398,090	2.5%	0.59
	ゴ ム 製 品	66,438	0.2%	84,392	0.5%	0.79
	な め し 革 ・ 同 製 品 ・ 毛 皮	1,708	0.0%	33,291	0.2%	0.05
	窯 業 ・ 土 石 製 品	7,478,802	27.0%	614,019	3.8%	12.18
	鉄 鋼	1,610,548	5.8%	114,308	0.7%	14.09
	非 鉄 金 属	210,813	0.8%	84,966	0.5%	2.48
	金 属 製 品	531,209	1.9%	737,282	4.6%	0.72
	一 般 機 械 器 具	234,928	0.8%	464,387	2.9%	0.51
	電 気 機 械 器 具	248,307	0.9%	515,226	3.2%	0.48
	輸 送 用 機 械 器 具	634,461	2.3%	158,416	1.0%	4.01
精 密 機 械 器 具	11,355	0.0%	134,916	0.8%	0.08	
そ の 他 の 製 造 業	54,308	0.2%	203,004	1.3%	0.27	
計	17,103,430	61.8%	6,598,325	41.3%	2.59	
卸売業	各 種 商 品	7,969	0.0%	43,206	0.3%	0.18
	織 維 品	4,796	0.0%	146,764	0.9%	0.03
	衣 服 ・ 身 の 回 り 品	24,294	0.1%	854,391	5.4%	0.03
	農 畜 産 物 ・ 水 産 物	435,379	1.6%	525,847	3.3%	0.83
	食 料 ・ 飲 料	459,411	1.7%	1,038,868	6.5%	0.44
	建 築 材 料	1,728,981	6.2%	1,029,308	6.4%	1.68
	化 学 製 品	100,201	0.4%	323,499	2.0%	0.31
	鉱 物 ・ 金 属 材 料	491,199	1.8%	449,799	2.8%	1.09
	再 生 資 源	451,722	1.6%	62,073	0.4%	7.28
	機 械 器 具	232,002	0.8%	2,102,661	13.2%	0.11
	家 具 ・ 建 具 ・ じ ゅ う 器	35,239	0.1%	364,748	2.3%	0.10
医 薬 品 ・ 化 粧 品	46,205	0.2%	503,663	3.2%	0.09	
そ の 他 の 卸 売 業	234,204	0.8%	1,174,596	7.4%	0.20	
計	4,251,602	15.4%	8,619,422	54.0%	0.49	
倉庫業	1 ・ 2 ・ 3 類	1,318,177	4.8%	534,319	3.3%	2.47
	野 積	354,045	1.3%	9,253	0.1%	38.26
	貯 蔵 そ う	290,316	1.0%	5,318	0.0%	54.60
	危 険 品 (建 屋)	22,013	0.1%	21,778	0.1%	1.01
	危 険 品 (タ ン ク)	41,180	0.1%	2,372	0.0%	17.36
	水 面	11,261	0.0%	194	0.0%	58.05
冷 蔵	151,066	0.5%	112,460	0.7%	1.34	
計	2,188,058	7.9%	685,694	4.3%	3.19	
合 計	27,689,224	100.0%	15,963,530	100.0%	1.73	

2) 発産業・届先施設間流動量

届先施設の構成（重量ベース）をみると、工場への流動が37.8%と最も多く、次いで建設現場（30.3%）への流動であり、以下、自家倉庫（9.1%）、営業倉庫（7.4%）、小売店店頭（4.7%）の順である（図3-2-4）。

95年調査と比較すると、自家倉庫（7.6% 9.1%）、営業倉庫（6.1% 7.4%）への流動割合が高まっており、一方で小売店店頭（6.7% 4.7%）、問屋店頭（3.4% 2.4%）への流動割合が低下している。

図3-2-4 発産業別にみた届先施設構成（重量ベース）

（3日間調査 単位：千トン、%）



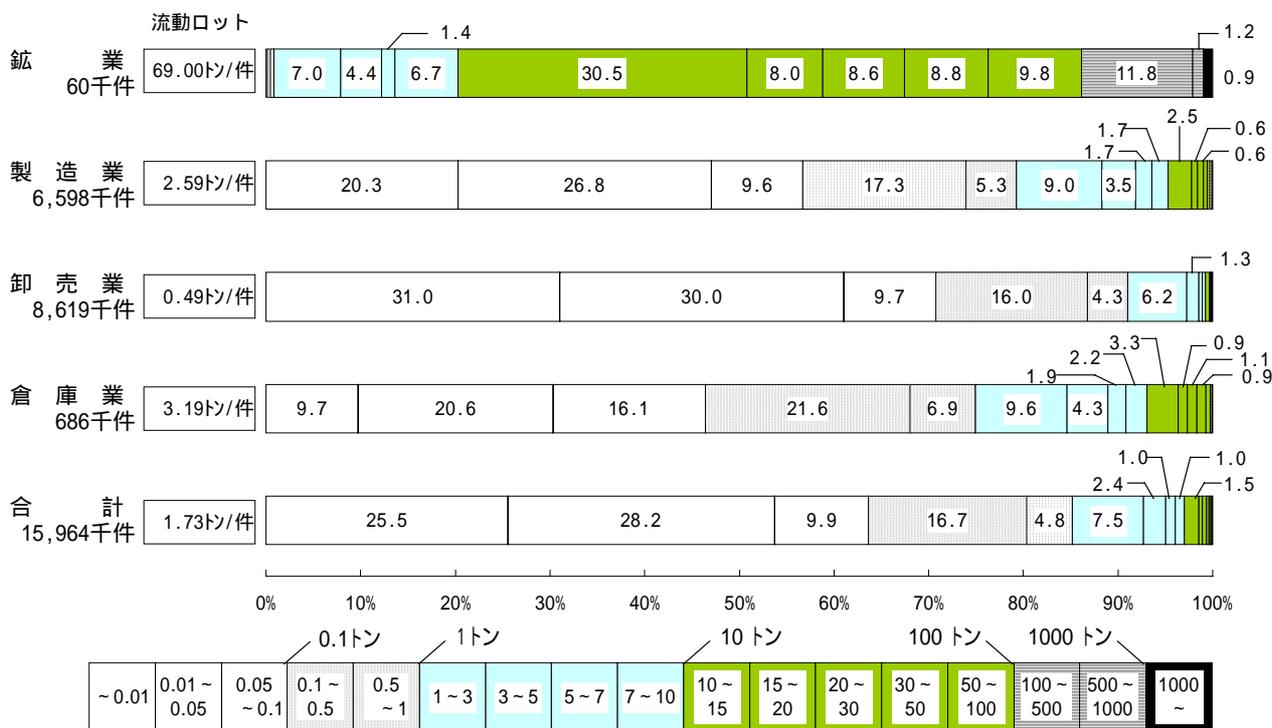
3) 発産業別流動ロット分布

流動ロット階層別の流動件数の分布をみると、発産業合計では 0.1トン未満の貨物が 63.6%と過半数を占め、1 トン未満の貨物の占める比率は85.2%に達する。

発産業別にみると、鉱業ではロットの大きい貨物の比率が高く、100トン以上で13.9%、10トン以上では79.7%を占める。卸売業では、逆にロットの小さい貨物の占める割合が高く、0.1トン未満で70.8%、1 トン未満では91.1%を占める（図3-2-5）。

図3-2-5 発産業別にみた流動ロット分布（件数ベース）

（3日間調査 単位：千件、トン/件、%）



(2) 品類別流動量・流動ロット

1) 品類品目別流動量・流動ロット

品類別流動量・流動ロット

品類別の構成をみると、重量ベースでは化学工業品が最も多く37.2%を占め、以下、鉱産品(24.7%)、金属機械工業品(16.8%)の順であり、この3品類で全体の78.7%を占める。一方、件数ベースでは金属機械工業品が28.9%と最も多く、以下、雑工業品(25.6%)、化学工業品(16.9%)、軽工業品(16.5%)の順である(図3-2-6)。

品類別の流動ロットは、鉱産品が最も大きく21.21トンであり、以下、化学工業品(3.80トン)、特殊品(3.13トン)、林産品(2.11トン)の順で、最も小さいのは雑工業品の0.20トンである(図3-2-7)。

流動量の品目構成

品目別の構成をみると、重量ベースでは砂利・砂・石材(19.7%)、生コンクリート(14.3%)、鉄鋼(7.4%)の順に多く、この3品目で全体の41.5%を占める。件数ベースでは、その他食料工業品が10.2%と最も多く、以下、衣服・身の回り品(7.6%)、金属製品(7.4%)、電気機械(6.6%)の順となる(図3-2-8)。

図3-2-6 流動量の品類構成

(3日間調査 単位:千トン,%)

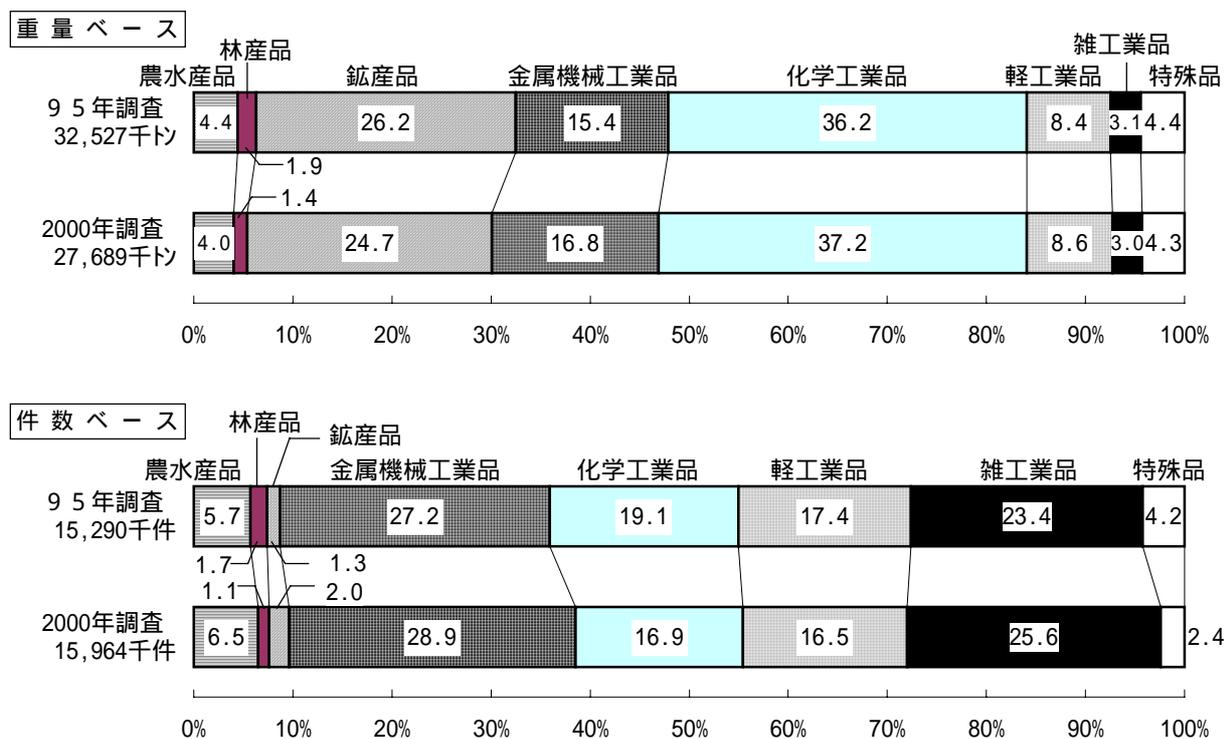


図 3 - 2 - 7 品類別流動ロット

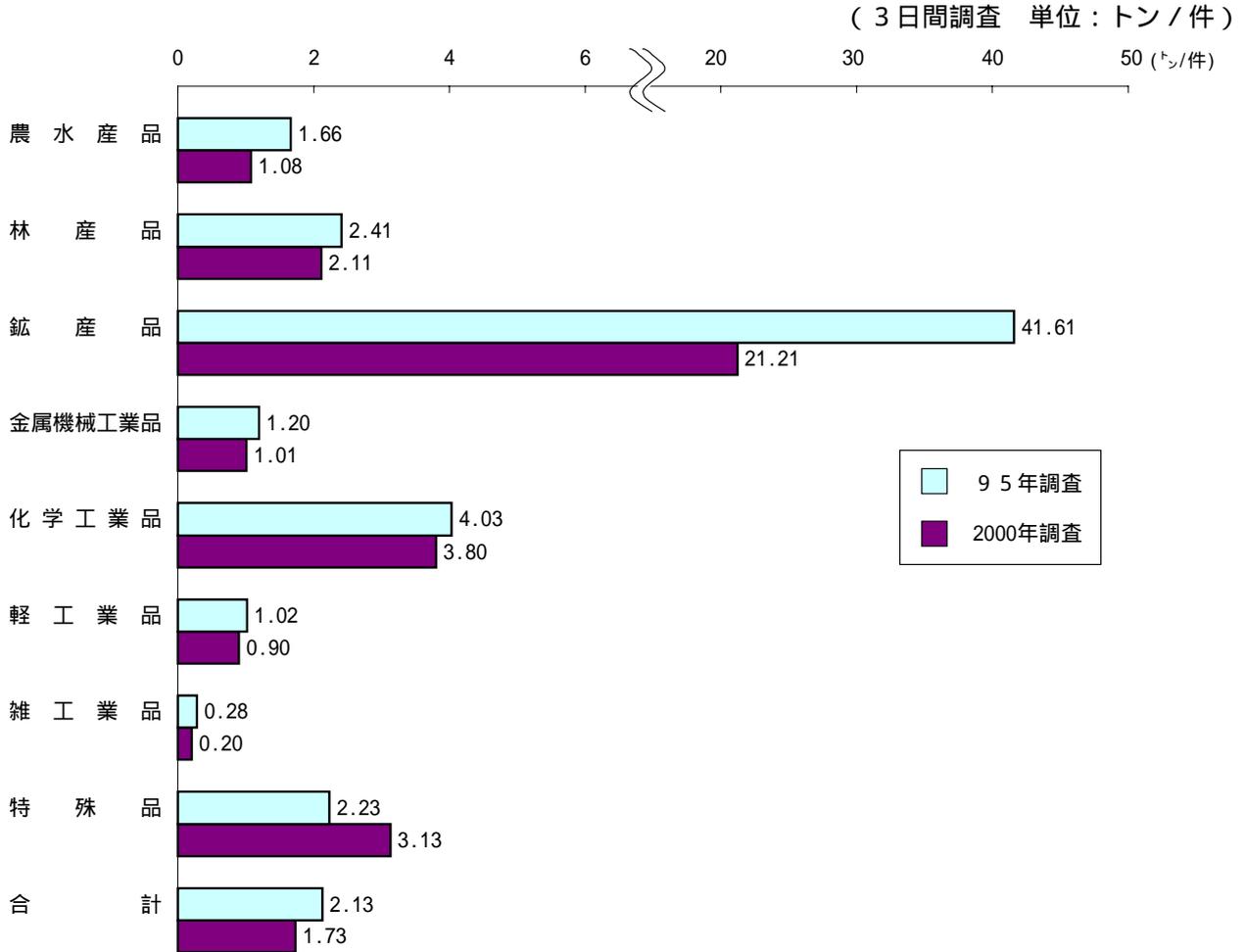


図 3 - 2 - 8 流動量の品目構成

(3日間調査 単位：千トン, 千件, %)

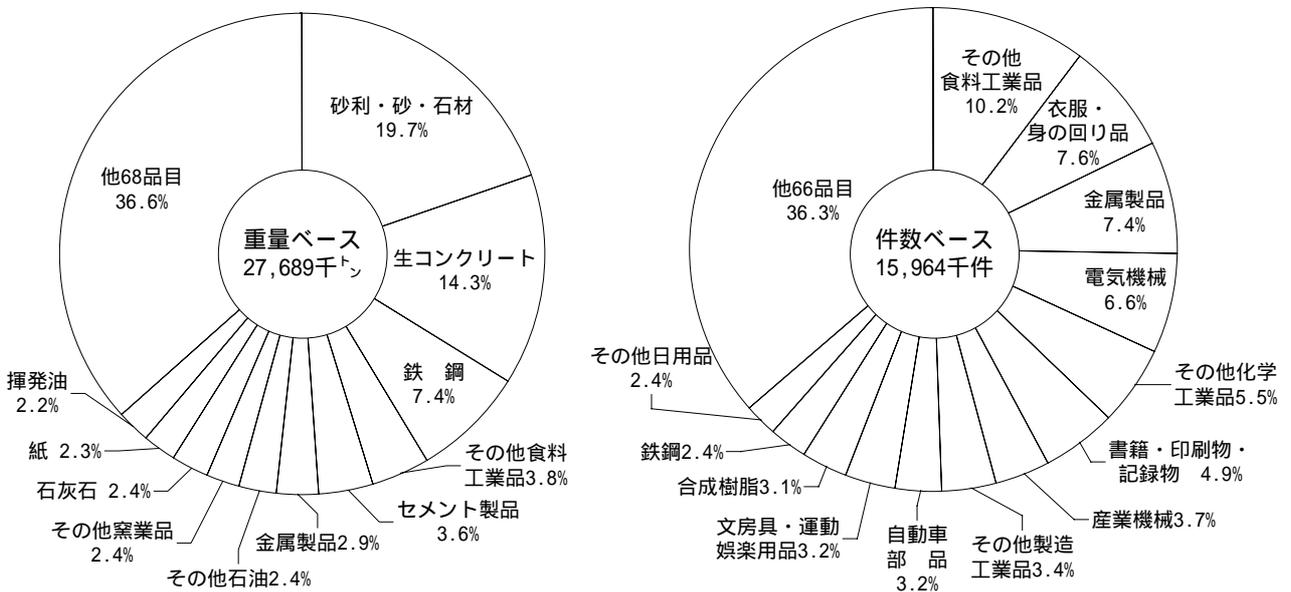


表3 - 2 - 2 品類品目別流動量・流動ロット

(3日間調査 単位: トン, 件, %, トン/件)

品 類 品 目	流 動 量 (重量)		流 動 量 (件数)		流 動 ロット	流 動 ロ ッ ト (95年調査)	
		構成比		構成比			
農 水 産 品	麦	81,000	0.3%	4,355	0.0%	18.60	25.91
	米	80,363	0.3%	53,046	0.3%	1.51	2.61
	雑穀・豆	222,756	0.8%	16,184	0.1%	13.76	16.92
	野菜・果物	318,568	1.2%	222,168	1.4%	1.43	2.14
	羊毛	430	0.0%	132	0.0%	3.27	0.87
	その他の畜産品	138,221	0.5%	239,758	1.5%	0.58	0.94
	水産品	201,609	0.7%	371,149	2.3%	0.54	0.71
	綿花	4,057	0.0%	489	0.0%	8.30	6.47
	その他の農産品	64,989	0.2%	125,837	0.8%	0.52	2.30
	計	1,111,993	4.0%	1,033,118	6.5%	1.08	1.66
林 産 品	原木	59,740	0.2%	5,209	0.0%	11.47	14.55
	製材	266,807	1.0%	157,231	1.0%	1.70	1.96
	薪炭	4,415	0.0%	2,218	0.0%	1.99	0.88
	樹脂類	4,460	0.0%	1,548	0.0%	2.88	3.60
	その他の林産品	46,512	0.2%	14,488	0.1%	3.21	2.54
計	381,934	1.4%	180,692	1.1%	2.11	2.41	
鉱 産 品	石炭	194,414	0.7%	888	0.0%	218.90	25.13
	鉄鉱石	2,024	0.0%	27	0.0%	73.65	59.47
	その他の金属鉱	8,645	0.0%	566	0.0%	15.28	26.36
	砂利・砂・石材	5,447,084	19.7%	276,839	1.7%	19.68	49.61
	石灰石	665,374	2.4%	2,206	0.0%	301.66	117.81
	原油・天然ガス	6,607	0.0%	105	0.0%	62.86	218.21
	りん鉱石	5,918	0.0%	22	0.0%	274.03	847.75
	原塩	24,302	0.1%	344	0.0%	70.72	6.25
	その他の非金属鉱物	489,702	1.8%	41,752	0.3%	11.73	15.10
	計	6,844,071	24.7%	322,749	2.0%	21.21	41.61
金 属 機 械 工 業 品	鉄鋼	2,060,861	7.4%	385,201	2.4%	5.35	6.10
	非鉄金属	298,861	1.1%	204,938	1.3%	1.46	1.48
	金属製品	810,610	2.9%	1,182,882	7.4%	0.69	0.73
	産業機械	229,103	0.8%	596,735	3.7%	0.38	0.57
	電気機械	332,377	1.2%	1,059,285	6.6%	0.31	0.38
	自動車	219,587	0.8%	77,614	0.5%	2.83	7.86
	自動車部品	552,841	2.0%	511,201	3.2%	1.08	1.91
	その他の輸送機械	52,636	0.2%	77,518	0.5%	0.68	0.74
	精密機械	31,864	0.1%	359,691	2.3%	0.09	0.08
	その他の機械	73,900	0.3%	158,746	1.0%	0.47	0.51
計	4,662,640	16.8%	4,613,811	28.9%	1.01	1.20	
化 学 工 業 品	セメント	546,681	2.0%	61,364	0.4%	8.91	17.32
	生コンクリート	3,951,910	14.3%	159,331	1.0%	24.80	32.95
	セメント製品	983,328	3.6%	120,737	0.8%	8.14	7.09
	ガラス・ガラス製品	107,727	0.4%	76,202	0.5%	1.41	1.47
	陶磁器	95,208	0.3%	138,744	0.9%	0.69	0.71
	その他の窯業品	674,078	2.4%	149,905	0.9%	4.50	2.39
	重油	554,359	2.0%	20,512	0.1%	27.03	43.19
	揮発油	608,011	2.2%	13,952	0.1%	43.58	47.16
	その他の石油	674,380	2.4%	55,938	0.4%	12.06	10.73
	LNG・LPG	175,747	0.6%	84,678	0.5%	2.08	2.23
	その他の石油製品	297,653	1.1%	39,789	0.2%	7.48	10.53
	コークス	47,870	0.2%	381	0.0%	125.66	62.79
	その他の石炭製品	24,514	0.1%	3,825	0.0%	6.41	41.08
	化学薬品	494,421	1.8%	226,943	1.4%	2.18	3.41
	化学肥料	67,456	0.2%	16,372	0.1%	4.12	9.19
染料・顔料・塗料	86,059	0.3%	124,084	0.8%	0.69	0.63	
合成樹脂	355,334	1.3%	502,540	3.1%	0.71	0.82	
動植物性油脂	84,128	0.3%	37,989	0.2%	2.21	3.10	
その他の化学工業品	459,929	1.7%	871,171	5.5%	0.53	0.48	
計	10,288,792	37.2%	2,704,458	16.9%	3.80	4.03	
軽 工 業 品	バルブ	25,681	0.1%	3,754	0.0%	6.84	13.87
	紙	633,495	2.3%	285,747	1.8%	2.22	2.78
	糸	31,306	0.1%	52,475	0.3%	0.60	0.50
	織物	58,004	0.2%	326,590	2.0%	0.18	0.17
	砂糖	54,942	0.2%	18,487	0.1%	2.97	3.49
	その他の食料工業品	1,047,218	3.8%	1,632,118	10.2%	0.64	0.78
	飲料	524,643	1.9%	322,018	2.0%	1.63	1.73
	計	2,375,290	8.6%	2,641,190	16.5%	0.90	1.02
雑 工 業 品	書籍・印刷物・記録物	182,059	0.7%	778,822	4.9%	0.23	0.36
	がん具	8,160	0.0%	78,887	0.5%	0.10	0.12
	衣服・身の回り品	68,618	0.2%	1,215,847	7.6%	0.06	0.07
	文房具・運動娯楽用品	47,011	0.2%	504,088	3.2%	0.09	0.17
	家具・装備品	64,444	0.2%	180,813	1.1%	0.36	0.70
	その他の日用品	52,273	0.2%	384,888	2.4%	0.14	0.24
	木製品	233,623	0.8%	276,098	1.7%	0.85	0.89
	ゴム製品	63,058	0.2%	118,049	0.7%	0.53	0.40
	その他の製造工業品	118,254	0.4%	550,213	3.4%	0.21	0.22
	計	837,502	3.0%	4,087,705	25.6%	0.20	0.28
特 殊 品	鉄スクラップ	365,545	1.3%	19,743	0.1%	18.52	-
	金属製容器包装廃棄物	11,334	0.0%	2,989	0.0%	3.79	-
	その他の金属くず	75,436	0.3%	15,011	0.1%	5.03	-
	(金属くず計)	452,316	1.6%	37,743	0.2%	11.98	17.69
	廃家電	12	0.0%	12	0.0%	0.95	-
	その他容器包装廃棄物	10,413	0.0%	15,038	0.1%	0.69	-
	その他のくずもの	140,578	0.5%	24,716	0.2%	5.69	-
	(その他のくずもの計)	151,003	0.5%	39,767	0.2%	3.80	8.51
	動植物性飼料	349,860	1.3%	36,380	0.2%	9.62	7.20
	その他の廃棄物	43,496	0.2%	5,955	0.0%	7.30	26.21
金属製輸送用容器	25,423	0.1%	16,160	0.1%	1.57	1.35	
その他の輸送用容器	108,145	0.4%	89,326	0.6%	1.21	1.01	
取り合せ品	56,761	0.2%	154,477	1.0%	0.37	0.33	
計	1,187,003	4.3%	379,808	2.4%	3.13	2.23	
合 計	27,689,224	100.0%	15,963,530	100.0%	1.73	2.13	

2) 発産業業種・品目別流動量

発業種別に品目構成（重量ベース）をみると、各業種とも関連品目が上位に位置し、上位3品目で概ね70%以上を占める。特に、鉱業の4業種、製造業の飲料・飼料・たばこ、衣服・その他繊維製品、木材・木製品、パルプ・紙・紙加工品、出版・印刷、ゴム製品、なめし革・同製品、鉄鋼、卸売業の衣服・身の回り品、食料・飲料、医薬品・化粧品、倉庫業の貯蔵そう、水面では90%を超えている。

また、石炭・亜炭（鉱業）、出版・印刷（製造業）、衣服・身の回り品、医薬品・化粧品（以上卸売業）、水面（倉庫業）では、出荷量トップの品目が全体の80%以上を占めている。

一方、石油製品・石炭製品、その他の製造業（以上製造業）、各種商品、機械器具、家具・建具・じゅう器（以上卸売業）、1・2・3類（倉庫業）では、1位の品目が占める割合が30%未満であり、なかでも1・2・3類（倉庫業）は上位3品目の占める割合が40%強にとどまり、多品目にわたり出荷されている（表3-2-3）。

表 3 - 2 - 3 発産業業種別にみた流動量の上位 3 品目

(3 日間調査 単位：トン，%)

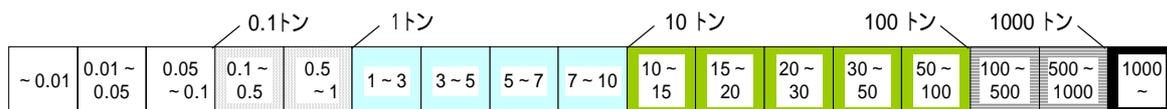
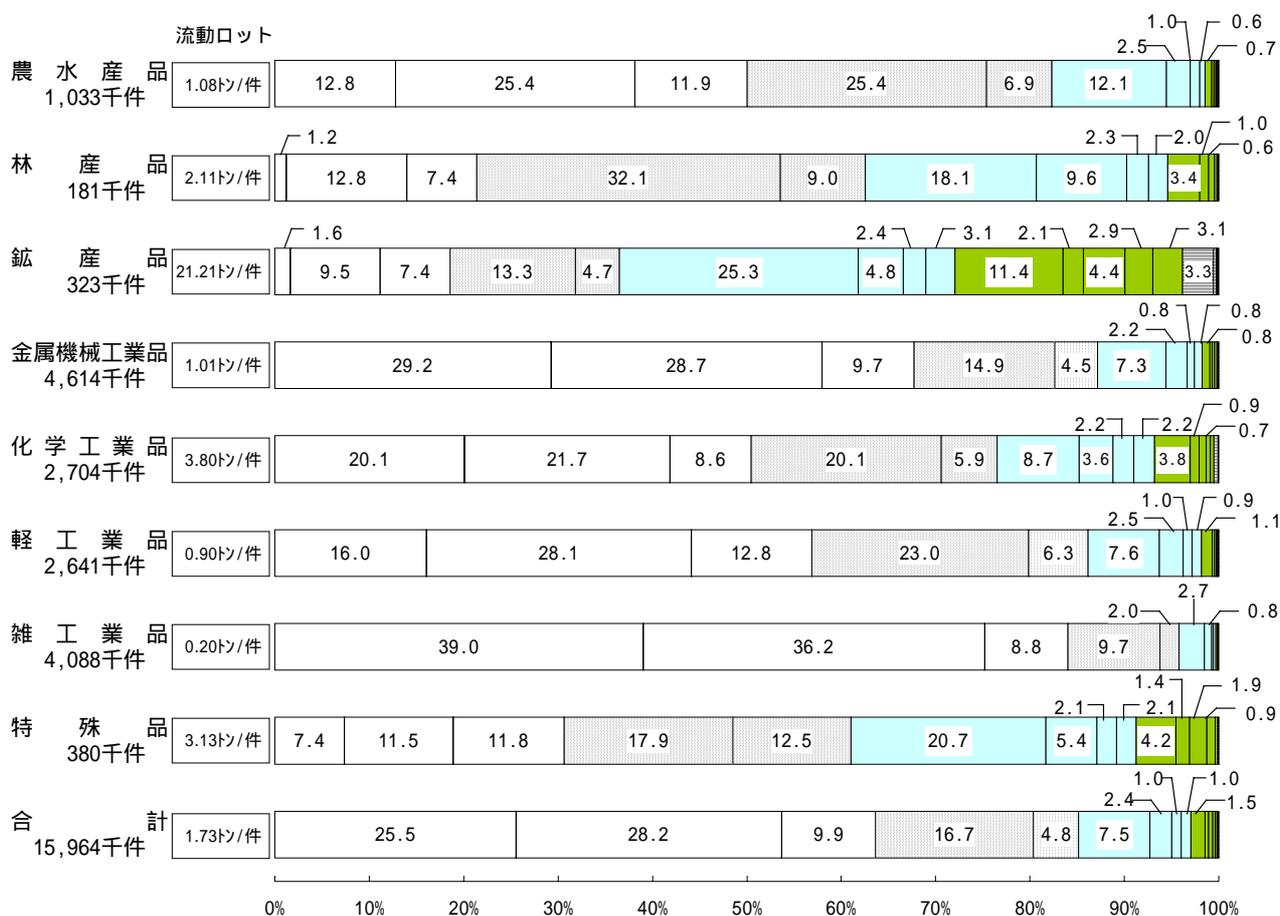
発産業業種	流動量	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
		品目名	構成比	品目名	構成比	品目名	構成比	
鋳業	金 属	8,428	その他の非金属鉱物	60.9	その他の金属鉱	39.1		
	石炭・亜炭	24,496	石 炭	99.0	その他の廃棄物	0.7		
	原油・天然ガス	2,224	原油・天然ガス	76.3	L N G ・ L P G	22.6	産業機械	0.5
	非金属	4,110,986	砂利・砂・石材	76.5	石 灰 石	14.2	その他の非金属鉱物	4.4
	計	4,146,134	砂利・砂・石材	75.9	石 灰 石	14.1	その他の非金属鉱物	4.5
製造業	食料品	960,399	その他の食料工業品	62.4	動植物性飼肥料	7.8	動植物性油脂	5.8
	飲料・飼料・たばこ	466,795	飲 料	51.4	動植物性飼肥料	37.5	その他の食料工業品	5.7
	織 維	51,848	織 物	45.7	糸	30.3	その他の化学工業品	6.9
	衣服・その他繊維製品	20,805	衣服・身の回り品	63.9	織 物	20.3	その他の製造工業品	7.6
	木材・木製品	315,255	製 材	46.7	木 製 品	34.6	その他の林産品	11.9
	家具・装備品	52,239	家具・装備品	72.6	木 製 品	10.0	金属製品	6.1
	パルプ・紙・紙加工品	521,580	紙	68.6	その他の輸送用容器	18.4	文房具・運動娯楽用品	3.4
	出版・印刷	162,046	書籍・印刷物・記録物	87.8	金属製品	3.7	紙	3.0
	化学	1,012,968	化学薬品	31.5	その他の化学工業品	23.7	合成樹脂	13.9
	石油製品・石炭製品	2,223,236	その他の石油	28.0	揮 発 油	26.1	重 油	22.8
	プラスチック製品	233,383	合成樹脂	48.0	自動車部品	14.4	その他の化学工業品	11.0
	ゴム製品	66,438	ゴム製品	74.1	自動車部品	12.1	衣服・身の回り品	8.1
	なめし革・同製品・毛皮	1,708	その他の製造工業品	65.5	衣服・身の回り品	30.5	その他の畜産品	1.3
	窯業・土石製品	7,478,802	生コンクリート	47.0	砂利・砂・石材	23.2	セメント製品	10.8
	鉄 鋼	1,610,548	鉄 鋼	78.9	鉄スクラップ	8.9	金属製品	4.3
	非鉄金属	210,813	非鉄金属	64.1	化学薬品	11.2	その他の金属くず	4.3
	金属製品	531,209	金属製品	52.3	鉄 鋼	16.9	自動車部品	7.3
	一般機械器具	234,928	産業機械	47.1	金属製品	17.4	自動車部品	8.0
	輸送用機械器具	634,461	自動車部品	49.8	自 動 車	24.6	金属製品	12.1
	電気機械器具	248,307	電気機械	65.8	自動車部品	12.1	その他の機械	4.3
精密機械器具	11,355	精密機械	57.8	その他の製造工業品	9.0	金属製品	6.3	
その他の製造業	54,308	その他の製造工業品	26.4	電気機械	13.5	自動車部品	11.0	
計	17,103,430	生コンクリート	20.6	砂利・砂・石材	10.3	鉄 鋼	8.2	
卸売業	各種商品	7,969	金属製品	26.5	紙	12.6	家具・装備品	11.2
	織 維 品	4,796	織 物	54.5	その他容器包装廃棄物	17.6	衣服・身の回り品	12.7
	衣服・身の回り品	100,201	衣服・身の回り品	89.4	織 物	6.7	その他の日用品	1.0
	農畜産物・水産物	491,199	野菜・果物	58.2	水 産 品	15.2	その他の畜産品	9.4
	食料・飲料	232,002	その他の食料工業品	45.4	飲 料	41.4	水 産 品	4.9
	建築材料	1,728,981	砂利・砂・石材	30.0	生コンクリート	22.9	金属製品	12.6
	化学製品	451,722	化学薬品	63.0	染料・顔料・塗料	10.6	その他の化学工業品	10.0
	鉱物・金属材料	24,294	鉄 鋼	45.0	L N G ・ L P G	16.9	重 油	8.7
	再生資源	435,379	鉄スクラップ	37.9	その他のくずもの	29.9	その他の金属くず	9.7
	機械器具	459,411	自動車部品	22.0	自 動 車	19.2	電気機械	17.4
	家具・建具・じゅう器	46,205	家具・装備品	25.7	その他の日用品	18.4	金属製品	9.8
	医薬品・化粧品	35,239	その他の化学工業品	86.6	その他の日用品	5.9	その他の食料工業品	3.7
その他の卸売業	234,204	紙	33.5	動植物性飼肥料	11.7	金属製品	6.5	
計	1,318,177	鉄 鋼	23.9	紙	11.5	その他の食料工業品	6.4	
倉庫業	1・2・3類	1,318,177	鉄 鋼	23.9	紙	11.5	その他の食料工業品	6.4
	野 積	354,045	石 炭	47.2	鉄 鋼	23.6	自 動 車	5.3
	貯蔵そう	290,316	雑穀・豆	64.0	麦	21.7	動植物性飼肥料	6.9
	危険品(建屋)	22,013	化学薬品	32.6	その他の化学工業品	28.6	その他の石油	17.3
	危険品(タンク)	41,180	化学薬品	35.4	その他の石油	25.0	揮 発 油	21.5
	水 面	11,261	原 木	100.0				
	冷 蔵	151,066	水 産 品	35.0	その他の食料工業品	33.7	その他の畜産品	20.3
計	2,188,058	鉄 鋼	18.2	雑穀・豆	9.9	石 炭	7.7	
合 計	27,689,224	砂利・砂・石材	19.7	生コンクリート	14.3	鉄 鋼	7.4	

3) 品類別流動ロット分布

品類別に流動件数の流動ロット階層別分布をみると、農水産品、金属機械工業品、化学工業品、軽工業品、雑工業品では小ロット貨物の比率が高く、0.1トン未満の貨物が、各々50.0%、67.7%、50.5%、56.9%、84.0%を占める。一方、林産品、特殊品では、0.1トン以上10トン未満の比率が、各々73.1%、60.6%と他の品類に比べて高い。また、鉱産品では、ロットの大きい貨物の比率が比較的高く、10トン以上の貨物が27.9%を占める(図3-2-9)。

図3-2-9 品類別にみた流動ロット分布(件数ベース)

(3日間調査 単位:千件,トン/件,%)



(3) 代表輸送機関別流動量・流動ロット

1) 代表輸送機関別流動量・流動ロット

「代表輸送機関」とは、貨物が出荷されてから届先地に到着するまでに利用された輸送機関のうち、輸送距離が最も長い輸送機関をいう。

代表輸送機関別のシェアをみると、重量ベースでは一車貸切（41.1%）がトップであり、次いで自家用トラック（31.7%）となり、トラック計では83.7%となる。トラック以外の輸送機関では、その他船舶が11.6%を占める。件数ベースでは、宅配便等混載（48.9%）、自家用トラック（33.1%）、一車貸切（14.9%）の順であり、トラック計では98.9%を占める。トラック以外の輸送機関では、航空、鉄道コンテナが、各々0.39%、0.16%である。

代表輸送機関別に流動ロットをみると、その他船舶が377.54トンで最も大きく、以下、トレーラー（22.15トン）、車扱・その他（21.86トン）、RORO船（18.05トン）である。一方、流動ロットが小さいのは、航空（0.035トン）、宅配便等混載（0.11トン）である（表3-2-4）。フェリーも0.99トンと流動ロットが小さいが、これは件数ベースでみると、出荷時の輸送機関が宅配便等混載である貨物が多いためであり、出荷時の輸送機関が一車貸切、トレーラーの場合には、流動ロットは各々7.82トン、13.11トンである。

表3-2-4 代表輸送機関別流動量・流動ロット

（3日間調査 単位：トン、件、%、トン/件）

代表輸送機関	流動量(重量)		流動量(件数)		流動ロット	
		構成比		構成比		
鉄 道	鉄 道 コ ン テ ナ	132,077	0.48%	25,252	0.16%	5.23
	車 扱 ・ そ の 他	121,858	0.44%	5,575	0.03%	21.86
	道 (計)	253,936	0.92%	30,827	0.19%	8.24
ト ラ ッ ク	自 家 用 ト ラ ッ ク	8,780,469	31.71%	5,290,556	33.14%	1.66
	宅 配 便 等 混 載	830,530	3.00%	7,806,681	48.90%	0.11
	一 車 貸 切	11,382,041	41.11%	2,379,360	14.90%	4.78
	ト レ ー ラ ー	1,959,570	7.08%	88,478	0.55%	22.15
	営 業 用 ト ラ ッ ク (計)	14,172,141	51.18%	10,274,519	64.36%	1.38
	フ ェ リ ー	220,197	0.80%	222,078	1.39%	0.99
ト ラ ッ ク (計)	23,172,808	83.69%	15,787,152	98.90%	1.47	
海 運	コ ン テ ナ 船	19,199	0.07%	3,815	0.024%	5.03
	R O R O 船	33,369	0.12%	1,848	0.012%	18.05
	そ の 他 船 舶	3,204,945	11.57%	8,489	0.05%	377.54
海 運 (計)	3,257,514	11.76%	14,153	0.09%	230.17	
航 空	2,036	0.01%	58,430	0.37%	0.035	
そ の 他	1,002,931	3.62%	72,969	0.46%	13.74	
合 計	27,689,224	100.00%	15,963,530	100.00%	1.73	

注：「その他船舶」とは、ばら積み貨物船、タンカー、自動車専用船等を指す。

「その他」とは、パイプライン、バルコンバア、自動車・船舶の自走等を指す。

図3 - 2 - 10 流動量の代表輸送機関分担

(3日間調査 単位：千トン,千件,%)

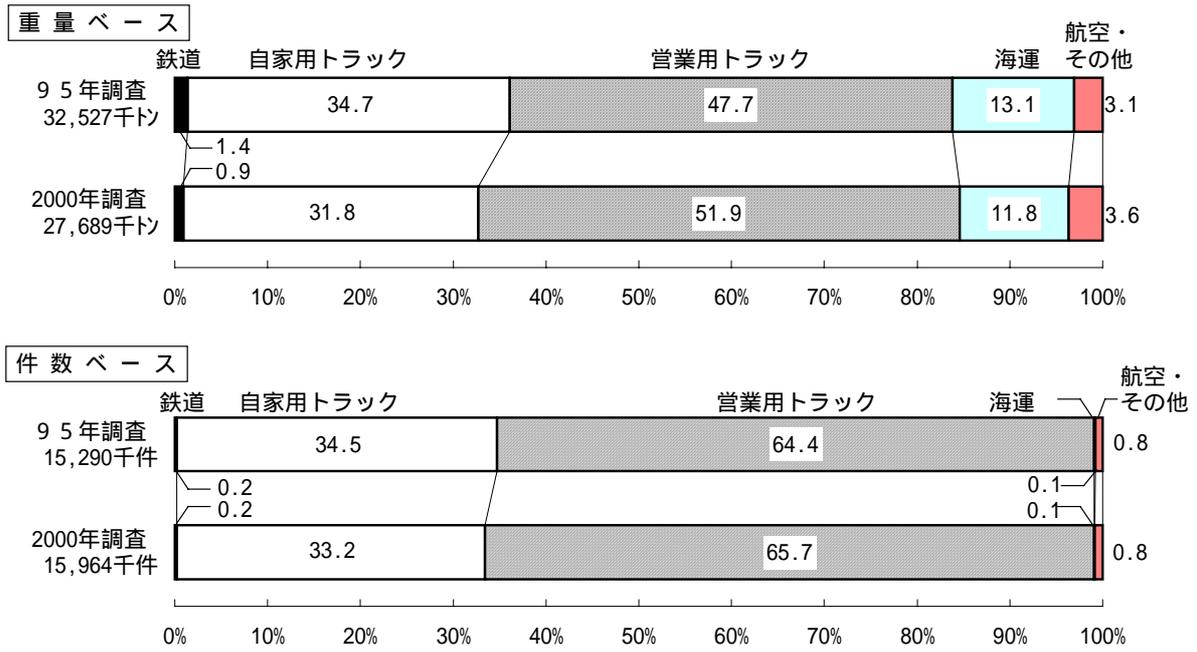
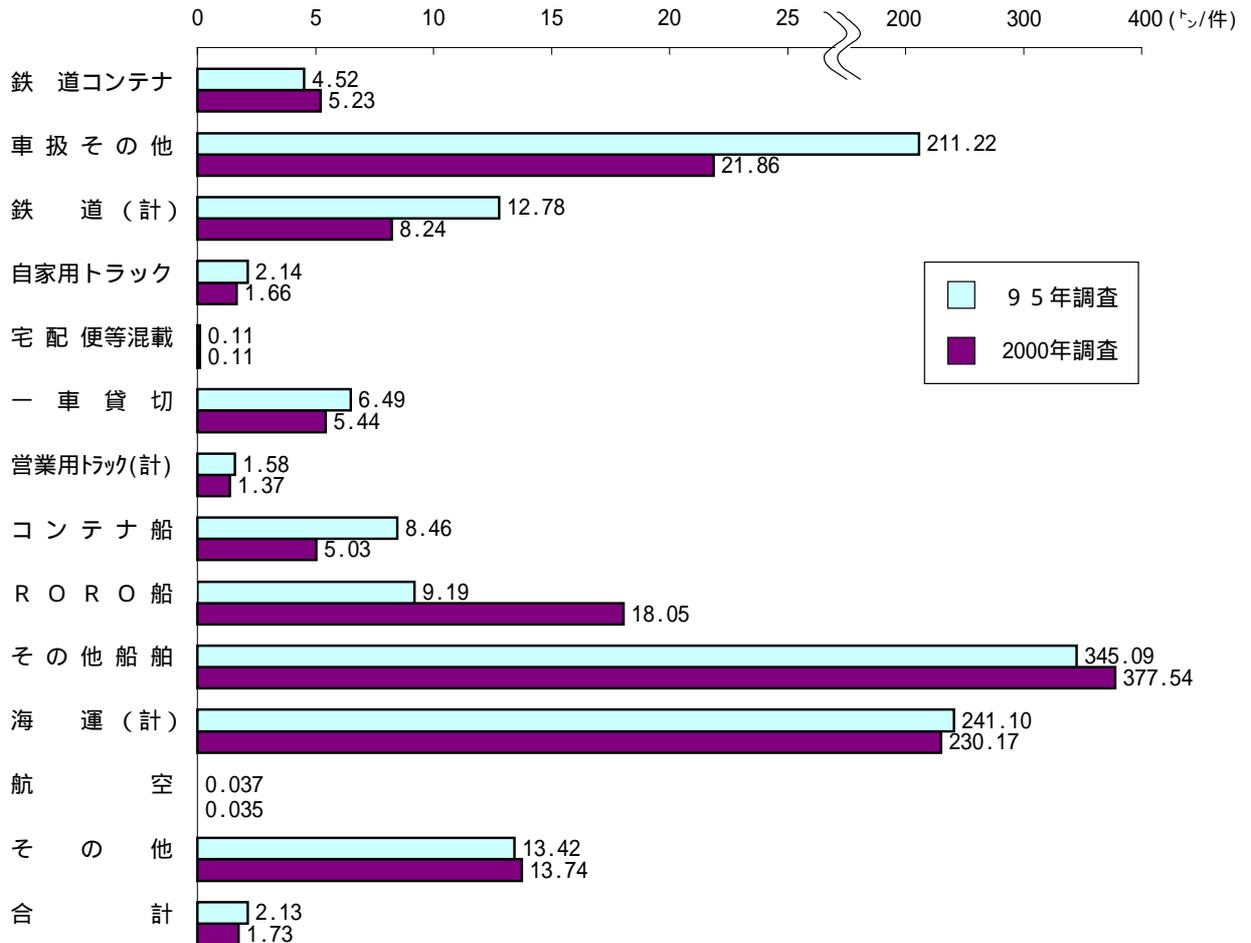


図3 - 2 - 11 代表輸送機関別流動ロット

(3日間調査 単位：トン/件)



注：図3 - 2 - 10、図3 - 2 - 11における2000年調査の輸送機関分類は、トレーラー、フェリーを他のトラックに統合し、95年調査の分類に合わせたもの。

2) 発産業業種別にみた代表輸送機関分担

発産業別に代表輸送機関分担（重量ベース）をみると、トラック（フェリーを含む）は各産業とも80%以上を占め、特に卸売業（95.9%）では著しく高い。自家用・営業用別にみると、卸売業では自家用トラックの方がシェアが高いが、鉱業、製造業、倉庫業では営業用トラックの方がシェアが高い。また、海運のシェアは鉱業、製造業で比較的高く、各々14.5%、13.7%である（表3-2-5）。

鉱業

発業種別にみると、まず鉱業では、非金属でトラックが80.9%を占めるが、他の業種ではトラック以外の輸送機関のシェアも高く、金属と石炭・亜炭ではその他船舶のシェアが70%であり、原油・天然ガスでは「その他」（パイプライン）が49.3%を占める。

製造業

製造業では、トラックのうち一車貸切のシェアが高い業種が多いが、衣服・その他繊維製品、なめし革・同製品では宅配便等混載のシェアが50%以上であり、鉄鋼ではトレーラーのシェア（28.3%）が一車貸切よりも高くなっている。また、自家用トラックのシェアが最も高いのは、窯業・土石製品（51.7%）であり、木材・木製品、金属製品も30%以上のシェアを有する。一方、鉄道のシェアが5%を超える業種は、パルプ・紙・紙加工品（7.1%）である。海運のシェアが10%を超える業種は、石油製品・石炭製品（51.2%）、鉄鋼（31.4%）、化学（22.0%）、非鉄金属（13.5%）、パルプ・紙・紙加工品（13.0%）の5業種であり、船種的には主にその他船舶利用であるが、パルプ・紙ではRORO船のシェアも比較的高い。また、航空のシェアが比較的高いのは、電気機械器具、繊維、精密機械器具などである。

卸売業

卸売業では、農畜産物・水産物、再生資源を除いてトラックのシェアは90%を超えており、この2業種も80%以上はトラック利用である。自家用・営業用別にみると、各種商品、農畜産物・水産物、建築材料、化学製品、再生資源では、営業用トラックよりも自家用トラックのシェアの方が高い。また、繊維品、衣服・身の回り品では、営業用トラックのうち宅配便等混載のシェアが70%以上である。このほか、再生資源では海運のシェア（15.8%）が高いのが特徴であり、衣服・身の回り品では、航空のシェア（0.85%）が他の業種に比べ高くなっている。

倉庫業

倉庫業では、1・2・3類、危険品（建屋）、冷蔵においてトラックのシェアが90%を超えており、自家用・営業用別にみると、3業種とも営業用トラックのシェアの方が高い。一方、野積では海運のシェアが38.3%と比較的高く、危険品（タンク）、水面も海運のシェアが10%を超える。また、貯蔵そう、水面では「その他」（ベルトコンベア等）が40%以上を占めている。

表3 - 2 - 5 発産業業種別にみた代表輸送機関分担（重量ベース）

（3日間調査 単位：％）

代表輸送機関 発産業業種		鉄 道			ト ラ ッ ク						海 運				航空	その他	合 計	
		鉄 道 コナ	車扱・ その他	計	自家用 トラック	営業用トラック			フェリ- 計	コナ 船	RORO 船	その他 船舶	計					
						宅配便 等混載	一 車 貸 切	トレー- 計										
鉱 業	金 属					27.3		27.3		27.3			72.7	72.7			100.0	
	石 炭・亜 炭				2.5	17.4		17.4		19.8			80.2	80.2			100.0	
	原 油・天然ガス				1.3	49.3		49.5		50.8						49.2	100.0	
	非 金 属	0.00		0.00	38.6	0.0	41.9	0.2	42.2	0.06	80.9		14.0	14.0		5.1	100.0	
	計	0.00		0.00	38.3	0.0	41.8	0.2	42.0	0.06	80.4		14.5	14.5		5.1	100.0	
製 造 業	食 料 品	2.22		2.22	14.3	10.3	62.8	2.8	75.9	3.12	93.4	0.60	0.21	3.4	4.2	0.026	0.2	100.0
	飲 料・飼 料・たばこ	1.72		1.72	6.0	3.8	76.0	10.1	90.0	1.18	97.1	0.03	0.18	0.1	0.3	0.016	0.8	100.0
	織 維	0.74		0.74	11.8	29.6	55.7	0.6	85.9	1.22	99.0	0.00		0.0	0.0	0.230	0.0	100.0
	衣服・その他繊維製品	0.67		0.67	18.3	52.8	22.7	1.2	76.7	4.24	99.2	0.00			0.0	0.049	0.0	100.0
	木 材・木 製 品	0.27		0.27	34.4	2.6	50.8	6.3	59.6	2.52	96.5	0.00	0.37	2.8	3.2	0.000	0.0	100.0
	家 具・装 備 品	0.16		0.16	22.3	15.7	58.5	0.1	74.3	2.77	99.4	0.03		0.0	0.0	0.042	0.4	100.0
	パルプ・紙・紙加工品	5.16	1.89	7.05	6.7	3.8	57.3	9.0	70.1	2.91	79.7	0.65	3.04	9.4	13.0	0.001	0.2	100.0
	出 版・印 刷	0.47	0.12	0.59	17.1	11.5	69.0	1.6	82.1	0.17	99.3	0.02			0.0	0.029	0.0	100.0
	化 学	1.94	1.39	3.33	1.6	5.1	47.6	10.7	63.5	1.79	66.9	0.24	0.17	21.6	22.0	0.007	7.8	100.0
	石油製品・石炭製品	0.31	2.70	3.02	3.2	0.0	27.6	3.8	31.5	0.19	34.9	0.00	0.01	51.2	51.2		10.8	100.0
	プラスチック製品	0.63		0.63	13.6	18.4	65.7	0.3	84.5	1.05	99.1	0.08	0.00	0.0	0.1	0.015	0.2	100.0
	ゴ ム 製 品	0.09		0.09	1.2	15.9	70.4	7.2	93.5	4.29	99.0	0.34	0.11	0.3	0.8	0.012	0.1	100.0
	なめし革・同製品・毛皮				8.3	79.0	8.8		87.8	3.90	100.0					0.001		100.0
	窯 業・土 石 製 品	0.11	0.48	0.59	51.7	0.8	38.3	3.8	42.9	0.49	95.1	0.00	0.01	3.8	3.8	0.001	0.6	100.0
	鉄 鋼	0.25	0.00	0.25	9.8	1.1	23.3	28.3	52.8	0.55	63.1	0.06	0.10	31.2	31.4	0.000	5.3	100.0
	非 鉄 金 属	1.57	0.65	2.23	5.8	5.6	55.8	14.7	76.1	0.84	82.8	0.04	0.11	13.4	13.5	0.001	1.4	100.0
	金 属 製 品	0.50		0.50	31.5	7.8	49.6	8.2	65.6	1.21	98.3	0.02	0.27	0.6	0.9	0.004	0.3	100.0
	一 般 機 械 器 具	0.34		0.34	20.8	11.5	50.4	11.1	73.0	3.46	97.3	0.00	0.89	1.1	1.9	0.049	0.4	100.0
	電 気 機 械 器 具	0.79		0.79	19.7	15.8	59.4	1.9	77.1	1.43	98.2	0.07	0.07	0.1	0.3	0.227	0.6	100.0
	輸 送 用 機 械 器 具	0.28		0.28	15.1	2.4	52.6	15.0	69.9	0.66	85.7	0.17	0.50	4.4	5.1	0.006	9.0	100.0
精 密 機 械 器 具	0.97		0.97	16.9	24.6	54.1	1.5	80.2	1.79	98.9			0.1	0.1	0.096	0.0	100.0	
そ の 他 の 製 造 業	0.35		0.35	15.7	19.3	63.0	0.3	82.5	1.48	99.6			0.0	0.0	0.005	0.0	100.0	
計	0.64	0.71	1.35	28.6	3.1	41.8	7.5	52.4	0.94	81.9	0.09	0.18	13.4	13.7	0.008	3.0	100.0	
卸 売 業	各 種 商 品				72.2	0.3	27.1		27.4	0.35	100.0					0.000		100.0
	織 維 品				10.4	82.1	6.5	0.1	88.7	0.89	100.0					0.001	0.0	100.0
	衣 服・身 の 回 り 品	0.03		0.03	7.7	76.3	7.1	0.2	83.6	1.88	93.2	5.86		5.9	0.850	0.1	100.0	
	農 畜 産 物・水 産 物	1.23		1.23	44.3	3.5	35.4	0.6	39.6	5.15	89.1	0.30	0.13	0.0	0.5	0.007	9.2	100.0
	食 料・飲 料	0.01		0.01	47.6	5.2	45.7	0.5	51.4	0.97	100.0	0.00			0.0	0.000	0.0	100.0
	建 築 材 料	0.01		0.01	62.7	0.8	34.1	1.2	36.1	0.04	98.9	0.00		1.0	1.0	0.000	0.1	100.0
	化 学 製 品				64.0	6.2	29.6		35.8	0.10	99.9	0.02	0.02		0.0	0.003	0.0	100.0
	鉱 物・金 属 材 料	0.01		0.01	47.0	1.9	41.4	6.8	50.1	0.40	97.4			2.1	2.1	0.004	0.5	100.0
	再 生 資 源	0.10		0.10	45.8	0.0	25.7	11.8	37.6	0.79	84.1			15.8	15.8		0.0	100.0
	機 械 器 具	0.14		0.14	34.6	18.1	33.9	3.7	55.6	0.73	91.0	0.00	0.03	0.3	0.3	0.041	8.5	100.0
家 具・建 具・じゅう器	0.09		0.09	33.9	25.8	38.0		63.9	2.04	99.8	0.02		0.1	0.1	0.002	0.1	100.0	
医 薬 品・化 粧 品	0.42		0.42	34.4	16.3	44.9	2.5	63.8	1.09	99.2	0.17		0.0	0.2	0.044	0.1	100.0	
そ の 他 の 卸 売 業	0.39	0.00	0.40	40.8	17.9	33.4	6.6	57.9	0.75	99.4	0.00		0.0	0.0	0.019	0.2	100.0	
計	0.17	0.00	0.18	52.0	4.5	35.2	3.3	43.0	0.90	95.9	0.07	0.02	2.3	2.4	0.010	1.5	100.0	
倉 庫 業	1・2・3類	1.09		1.09	4.3	6.0	54.1	29.3	89.4	1.07	94.7	0.09	0.12	3.3	3.5	0.012	0.6	100.0
	野 積	0.15		0.15	1.4	0.1	18.1	25.8	43.9	0.02	45.3	0.00		38.3	38.3	0.000	16.3	100.0
	貯 蔵 そ う	0.02		0.02	2.0	0.0	32.7	12.8	45.5	0.10	47.7		0.03	6.7	6.7		45.6	100.0
	危 険 品（建 屋）	0.23		0.23	1.8	15.7	75.2	6.4	97.4	0.27	99.5	0.07			0.1	0.014	0.2	100.0
	危 険 品（タンク）	0.04	0.26	0.30	1.4	0.4	65.1	10.5	76.0	0.14	77.6	0.02		19.3	19.3		2.8	100.0
	水 面 冷 蔵	0.05		0.05	0.2		20.4	27.0	47.5		47.7			11.6	11.6		40.7	100.0
計	0.69	0.00	0.69	4.4	5.0	45.8	24.1	74.9	0.89	80.2	0.06	0.08	9.5	9.6	0.008	9.5	100.0	
合 計	0.48	0.44	0.92	31.7	3.0	41.1	7.1	51.2	0.80	83.7	0.07	0.12	11.6	11.8	0.007	3.6	100.0	

3) 品類品目別にみた代表輸送機関分担

品類別にみた代表輸送機関分担

品類別に代表輸送機関分担（重量ベース）をみると、トラックのシェアは、化学工業品を除く品類で80%を超えており、化学工業品も80%近いシェアである。自家用・営業用別にみると、林産品、鉱産品を除く6品類で一車貸切のシェアが高く、軽工業品、雑工業品では50%以上のシェアである。また、林産品も営業用トラック全体でみると、自家用トラックよりもシェアが高い。このほか、金属機械工業品ではトレーラーのシェア（21.6%）が、雑工業品では宅配便等混載のシェア（17.3%）が、各々他の品類に比べて高いのが特徴である。一方、鉱産品では、自家用トラックのシェアが40%を超え、営業用トラックよりも高くなっている。トラック以外の輸送機関のシェアをみると、鉱産品、金属機械工業品、化学工業品では、主にその他船舶の利用により海運のシェアが10%を超えている。また、軽工業品では主に鉄道コンテナの利用により、鉄道のシェアが3.0%で全品類の中で最も高く、化学工業品も主に車扱・その他の利用により、鉄道のシェアが1.5%となっている（表3-2-6）。

品目別にみた代表輸送機関分担

品目別にみるとトラックのシェアが概ねトップであり、79品目中39品目でシェアが95%を超える。一方、りん鉱石（5.0%）、コークス（16.5%）、原油・天然ガス（16.7%）、鉄鉱石（17.3%）、石炭（19.5%）、重油（20.0%）では、トラックのシェアが20%以下である。トラックのうち自家用トラックのシェアが50%を超えるのは、薪炭（97.2%）、金属製容器包装廃棄物（90.0%）、生コンクリート（71.4%）、その他のくずもの（56.0%）、その他の廃棄物（54.7%）、その他の金属くず（54.3%）、砂利・砂・石材（50.9%）の7品目である。営業用トラック利用では、一車貸切のシェアが高い品目が多いが、鉄鋼、自動車、原木などでは、営業用トラックの中でもトレーラーのシェアが高い。一方、衣服・身の回り品では宅配便等混載のシェアが65.6%であり、このほか織物（39.2%）、精密機械（35.1%）、文房具・運動娯楽用品（34.3%）、がん具（32.0%）、その他の日用品（27.4%）などで、宅配便等混載のシェアが比較的高くなっている。トラック以外の輸送機関のシェアをみると、海運のうちその他船舶のシェアが50%を超えている品目は、りん鉱石（95.0%）、コークス（80.6%）、重油（72.2%）、石炭（64.8%）、その他の石油（53.6%）である。鉄道は、セメント（6.5%）、重油（3.2%）、揮発油（2.8%）、その他石油（3.7%）などで車扱・その他のシェアが比較的高く、その他化学工業品（2.2%）、紙（4.2%）、砂糖（4.9%）、飲料（2.0%）などでは、鉄道コンテナのシェアが比較的高くなっている。また、航空のシェアが比較的高いのは、電気機械、精密機械、衣服・身の回り品などである（表3-2-6）。

品類別代表輸送機関別の流動ロット

品類別に代表輸送機関別の流動ロットをみると、各品類とも代表輸送機関により大きく異なり、総じてその他船舶の流動ロットが大きく、このほか化学工業品では車扱・その他、雑工業品ではRORO船の流動ロットが大きくなっている（表3-2-7）。

表3-2-6 品類品目別にみた代表輸送機関分担(重量ベース)

(3日間調査 単位: %)

代表輸送機関	鉄道			トラック							海運				航空	その他	合計	
	鉄道 コナ	車扱・ その他	計	営業用トラック							コナ船	RORO船	その他 船舶	計				
				自家用 トラック	宅配便 等混載	一車 貸切	トレー ラー	計	フェリ ー	計								
農 水 産 品	麦	3.05		3.05	4.8	3.4	55.8	10.2	69.4	0.02	74.3		0.07	3.0	3.0		22.7	100.0
	米				15.8	1.7	75.7	2.3	79.7	0.50	96.0						0.9	100.0
	雑穀・豆	0.18		0.18	4.0	1.0	24.4	12.1	37.5	0.50	42.1			8.2	8.2	0.002	49.6	100.0
	野菜・果物	1.48		1.48	42.6	4.4	33.3	0.2	37.9	5.54	86.1	0.41	0.18	0.5	1.1	0.024	11.4	100.0
	羊毛					5.3					100.0							100.0
	その他の畜産品	0.30		0.30	35.6	8.9	47.8	3.0	59.6	3.78	99.0	0.04	0.52	0.0	0.6	0.002	0.1	100.0
	水産品	0.08		0.08	31.1	16.0	39.4	2.8	58.2	6.49	95.8	0.20	0.14	0.0	0.3	0.025	3.7	100.0
	綿花				0.1	0.7	84.0	8.7	93.4	6.52	100.0							100.0
	その他の農産品	2.47		2.47	19.7	4.4	54.0	4.0	62.4	1.89	84.0	3.82	0.43	2.3	6.6	0.003	7.0	100.0
	計	0.88		0.88	25.7	6.1	40.6	4.5	51.2	3.51	80.4	0.38	0.17	2.1	2.7	0.012	16.0	100.0
林 産 品	原木			35.8	0.1	24.4	29.5	53.9	0.06	89.8			2.5	2.5			7.7	100.0
	製材	0.00		0.00	51.7	2.4	36.7	4.7	43.7	1.25	96.7	0.00		3.3	3.3		0.0	100.0
	薪炭				97.2	0.7	2.1		2.8		100.0							100.0
	樹脂類				20.2	0.2	63.9	15.8	79.8		100.0							100.0
	その他の林産品				24.0	1.7	52.2	21.5	75.4	0.61	100.0							100.0
	計	0.00		0.00	46.0	1.9	36.6	10.7	49.1	0.96	96.1	0.00		2.7	2.7		1.2	100.0
鉱 産 品	石炭				0.3	0.0	16.2	3.0	19.2		19.5			64.8	64.8		15.7	100.0
	鉄鉱石				1.4	0.1	8.0	7.8	15.9		17.3						82.7	100.0
	その他の金属鉱				2.7	0.1	65.0	19.5	84.6		87.3			12.7	12.7			100.0
	砂利・砂・石材				50.9	0.3	40.6	0.1	41.0	0.19	92.1			7.1	7.1		0.9	100.0
	石灰石	0.00		0.00	6.6		34.5	0.1	34.5		41.1			31.3	31.3		27.6	100.0
	原油・天然ガス				0.5		16.3		16.3		16.7			33.8	33.8		49.5	100.0
	りん鉱石						5.0		5.0		5.0			95.0	95.0			100.0
	原塩	2.23		2.23	30.6	0.0	44.5		44.5		75.1			22.6	22.6			100.0
	その他の非金属鉱物	0.00		0.00	21.8	0.4	54.3		66.2	0.07	88.1			11.0	11.0	0.000	0.9	100.0
	計	0.01		0.01	42.8	0.3	40.2	1.1	41.6	0.16	84.5			11.5	11.5	0.000	4.0	100.0
金 属 機 械 工 業 品	鉄鋼	0.01	0.00	0.01	9.9	0.7	23.2	37.2	61.1	0.53	71.6	0.05	0.08	24.0	24.1	0.001	4.3	100.0
	非鉄金属	1.17		1.17	7.8	5.8	53.6	14.9	74.2	0.72	82.8	0.03	0.06	9.5	9.5	0.016	6.5	100.0
	金属製品	0.26		0.26	39.1	7.2	45.5	5.8	58.5	1.03	98.6	0.02	0.16	0.7	0.9	0.005	0.2	100.0
	産業機械	0.20		0.20	21.7	10.2	46.6	13.2	70.0	3.36	95.1	0.10	0.94	2.4	3.4	0.019	1.3	100.0
	電気機械	0.57		0.57	18.9	18.6	50.7	3.7	73.0	1.46	93.4	0.06	0.02	5.4	5.5	0.185	0.4	100.0
	自動車	0.00		0.00	7.2	0.5	10.4	31.6	42.5	0.13	49.9		0.64	15.1	15.8		34.3	100.0
	自動車部品	0.40		0.40	10.4	5.1	76.1	5.3	86.5	0.74	97.7	0.15	0.34	0.4	0.8	0.005	1.1	100.0
	その他の輸送機械	0.51		0.51	23.8	9.1	44.7	10.7	64.6	1.89	90.2		0.09	6.7	6.8	0.051	2.4	100.0
	精密機械	0.36		0.36	22.4	35.1	38.8	2.1	76.0	0.89	99.3			0.1	0.1	0.198	0.1	100.0
	その他の機械	0.33		0.33	21.9	13.7	56.6	5.4	75.8	0.42	98.1			1.6	1.6	0.047	0.0	100.0
計	0.24	0.00	0.24	16.5	5.0	38.7	21.6	65.3	0.86	82.6	0.05	0.19	12.7	12.9	0.020	4.2	100.0	
化 学 工 業 品	セメント	0.04	6.53	6.57	15.0	0.2	31.2	15.8	47.1	0.24	62.4			29.0	29.0		2.0	100.0
	生コンクリート				71.4		28.3		28.3	0.20	99.8						0.2	100.0
	セメント製品	0.29	1.32	1.61	24.3	2.4	52.6	14.4	69.4	0.79	94.5	0.01	0.03	3.7	3.7	0.010	0.3	100.0
	ガラス・ガラス製品	0.99		0.99	14.7	3.5	65.7	12.0	81.1	1.44	97.2	0.02	0.01	1.5	1.5	0.003	0.2	100.0
	陶磁器	0.92		0.92	13.7	6.6	71.4	2.8	80.8	4.21	98.7	0.12	0.02	0.0	0.1	0.003	0.2	100.0
	その他の窯業品	1.00		1.00	20.2	1.1	65.3	5.6	72.1	1.03	93.3	0.03	0.01	5.7	5.7	0.001	0.0	100.0
	重油	0.27	3.24	3.51	0.5	0.0	16.4	3.1	19.5	0.04	20.0			72.2	72.2		4.3	100.0
	揮発油	0.42	2.78	3.20	0.2	0.0	26.1	4.2	30.4	0.06	30.6			44.9	44.9		21.3	100.0
	その他の石油	0.39	3.67	4.06	2.0	0.1	26.2	5.0	31.3	0.08	33.4		0.02	53.6	53.6		8.9	100.0
	LNG・LPG	0.07	0.27	0.34	26.5	0.0	37.4	2.8	40.2	0.01	66.8			16.5	16.5		16.4	100.0
	その他の石油製品	0.02		0.02	23.8	0.1	59.3	1.6	61.0	1.05	85.9	0.03		11.7	11.7		2.4	100.0
	コークス	0.01		0.01	0.1	0.0	15.1	1.3	16.4		16.5		0.14	80.6	80.8		2.8	100.0
	その他の石炭製品	0.36		0.36	0.5	2.1	28.9	9.1	40.2	3.90	44.6			31.0	31.0		24.0	100.0
	化学薬品	0.81	0.45	1.26	12.5	2.1	37.7	3.7	43.5	0.85	56.9	0.11	0.06	30.2	30.4	0.001	11.5	100.0
	化学肥料	0.52	1.19	1.71	9.3	2.6	75.0	5.9	83.4	1.86	94.5	0.15		3.6	3.7			100.0
染料・顔料・塗料	1.10		1.10	10.0	11.6	71.3	2.8	85.7	1.28	97.1	0.01		1.8	1.8	0.009	0.1	100.0	
合成樹脂	1.70		1.70	10.7	12.0	66.0	11.8	79.8	1.32	91.8	0.32	0.35	4.3	4.9	0.005	1.5	100.0	
動植物性油脂	4.65		4.65	6.7	2.9	66.5	2.2	71.6	0.99	79.2	0.22		14.4	14.7	0.001	1.5	100.0	
その他の化学工業品	2.23		2.23	7.7	12.3	54.5	7.3	74.1	1.76	83.5	0.20	0.08	13.3	13.6	0.033	0.6	100.0	
計	0.43	1.09	1.52	35.0	1.6	37.6	4.6	43.9	0.53	79.3	0.03	0.02	15.8	15.8	0.002	3.3	100.0	
軽 工 業 品	バルブ	1.51	0.63	2.14	4.6	2.1	53.1	8.0	63.2	0.52	68.3		0.72	28.9	29.6			100.0
	紙糸	4.18	1.53	5.71	13.8	2.6	53.7	11.8	68.1	2.48	84.4	0.53	2.46	6.9	9.9	0.000	0.1	100.0
	織物	2.26		2.26	9.7	18.6	57.9	9.1	85.6	0.65	95.9			0.0	0.0	0.000	1.8	100.0
	繊維	1.32		1.32	8.1	39.2	45.6	4.0	88.9	1.52	98.5					0.166	0.0	100.0
	砂糖	4.87		4.87	5.1	3.5	72.3	7.0	82.8	1.43	89.3	2.86	2.28	0.5	5.6	0.001	0.2	100.0
	その他の食料工業品	1.89		1.89	20.8	10.6	59.7	2.3	72.6	2.56	96.0	0.16	0.06	1.7	1.9	0.016	0.2	100.0
	飲料	2.03		2.03	23.5	4.3	65.5	3.2	73.0	1.29	97.8	0.06	0.02	0.0	0.1	0.014	0.0	100.0
	計	2.59	0.41	3.00	18.5	7.6	59.3	5.3	72.2	2.16	92.9	0.29	0.75	2.9	3.9	0.014	0.1	100.0
雑 工 業 品	書籍・印刷物・記録物	0.38	0.11	0.49	22.1	11.2	64.3	1.6	77.0	0.26	99.4	0.02			0.0	0.034	0.0	100.0
	がん具				16.1	32.0	49.5		81.5	2.45	100.0					0.012	0.0	100.0
	衣服・身の回り品	0.13		0.13	8.4	65.6	20.6	0.8	87.0	1.93	97.4	2.08			2.1	0.352	0.1	100.0
	文房具・運動娯楽用品	2.14		2.14	10.7	34.3	48.6	1.1	84.0	2.70	97.4	0.10			0.1	0.166	0.2	100.0
	家具・装備品	0.68		0.68	23.7	16.2	56.6	0.2	73.0	2.23	98.9	0.03			0.0	0.020	0.3	100.0
	その他の日用品	0.23		0.23	20.0	27.4	48.2	1.4	76.9	2.24	99.2		0.00	0.0	0.0	0.046	0.5	100.0
	木製品	0.37																

表3 - 2 - 7 品類品目・代表輸送機関別流動ロット

(3日間調査 単位:トン/件)

品類品目	代表輸送機関			トラック								海運				航空 (単位: kg)	その他	合計
	鉄道		計	営業用トラック					フェリー	計	計							
	鉄道 コンテナ	車扱・ その他		自家用 トラック	宅配便 等混載	一車 貸切	トレー	計			コンテナ船	RORO船	その他 船舶					
農産品	麦	5.12		5.12	5.14	2.21	22.14	36.72	16.06	7.38	14.10		54.00	594.0	477.4		225.3	18.60
	米	6.00		6.00	0.71	0.17	2.35	17.69	1.86	1.91	1.47						20.3	13.76
	雑穀・豆	5.43		5.43	1.17	0.52	18.72	51.51	11.07	2.04	5.94			907.3	907.3	25.00	657.1	1.43
	野菜・果物				1.23	0.28	2.07	0.57	1.18	2.93	1.25	23.53	8.57	52.5	22.7	45.03	53.5	3.27
	羊毛					0.62	4.29				3.27							0.58
	その他の畜産品	2.84		2.84	0.29	0.50	1.48	13.97	1.19	2.26	0.57	3.76	17.93	1.2	9.9	14.75	0.7	0.54
	水産品	5.00		5.00	0.44	0.22	1.45	2.07	0.57	0.87	0.53	3.66	3.97	0.0	3.5	16.22	1.7	8.30
	綿花				0.30	0.13	14.96	18.69	8.10	20.46	8.30							0.52
	その他の農産品	6.04		6.04	0.21	0.09	1.07	24.20	0.63	1.14	0.44	255.69	20.79	374.6	157.0	39.02	58.5	31.9
	計	5.25		5.25	0.56	0.25	2.10	9.78	1.17	1.54	0.88	22.45	9.95	238.8	62.1	26.15	31.9	1.08
林産品	原木				5.54	5.00	15.61	49.93	24.86	5.47	10.38			249.3	249.3		130.9	11.47
	製材	5.00		5.00	1.04	0.76	6.63	22.17	4.93	3.14	1.64	2.68		384.0	329.2		0.9	1.70
	新炭				2.07	0.25	3.50				0.84							1.99
	樹脂類				2.88	0.14	2.48	23.73	2.88		2.88							2.88
	その他の林産品				1.64	0.22	10.09	14.15	5.23	0.30	3.21							3.21
	計	5.00		5.00	1.21	0.59	7.25	24.68	5.68	1.81	2.03	2.68		356.2	314.6		49.0	2.11
鉱産品	石炭				1.31	0.13	136.43	85.51	103.39		47.35			1,760.6	1,760.6		1,900.7	218.90
	鉄鉱石				8.00	0.73	14.56	52.64	17.67		16.13						291.0	73.65
	その他の金属鉱				0.91	0.23	26.04	35.72	24.59		13.53			142.8	142.8		15.28	
	砂利・砂・石材				18.15	0.27	43.49	46.20	20.02	2.79	18.72			680.6	680.6		5.7	19.68
	石灰石	5.01		5.01	94.99		140.26	65.36	139.90		130.03			2,682.7	2,682.7		8,231.6	301.66
	原油・天然ガス				10.00		13.96		13.96		13.81			2,000.0	2,000.0		136.3	62.86
	りん鉱石						16.77		16.77		16.77			1,453.3	1,453.3		274.03	
	原塩	135.50		135.50	174.09	0.28	37.77		37.43		55.06			687.5	687.5		769.7	70.72
	その他の非金属鉱物	5.00		5.00	9.03	0.20	17.03	18.24	11.00	5.69	10.42			661.9	661.9		8.67	11.73
	計	66.64		66.64	17.68	0.26	39.98	21.36	19.79	2.84	18.47			964.1	964.1	8.67	32.4	21.21
金属機械工業品	鉄鋼	3.35	21.9	3.63	1.02	0.21	5.93	30.70	6.99	8.06	3.85	96.38	10.39	237.0	219.6	76.44	936.0	5.35
	非鉄金属	5.97		5.97	0.41	0.17	4.11	36.72	1.54	0.78	1.22	9.03	11.77	269.3	221.3	76.32	124.2	1.46
	金属製品	3.01		3.01	0.76	0.10	2.33	13.96	0.64	0.63	0.68	8.92	26.22	12.0	13.2	38.77	0.4	0.69
	産業機械	0.81		0.81	0.28	0.07	1.39	12.63	0.40	0.82	0.37	39.41	11.58	57.3	27.3	17.65	3.5	0.38
	電気機械	1.92		1.92	0.33	0.08	1.94	18.66	0.29	0.32	0.30	1.87	11.16	126.5	71.6	44.68	2.2	0.31
	自動車	6.00		6.00	1.08	0.90	0.48	23.45	1.81	5.00	1.65		7.20	22.4	20.7		7.8	2.83
	自動車部品	3.83		3.83	0.37	0.12	3.96	19.42	1.37	0.96	1.06	12.39	9.35	6.9	8.5	50.58	10.4	1.08
	その他の輸送機械	4.54		4.54	1.14	0.09	3.18	5.56	0.54	0.44	0.63		7.60	25.0	24.3	18.23	67.9	0.68
	精密機械	3.61		3.61	0.16	0.04	0.72	7.63	0.08	0.06	0.09			7.8	7.8	15.28	0.0	0.09
	その他の機械	1.43		1.43	0.67	0.09	2.38	6.92	0.43	0.17	0.46			14.8	14.8	20.89	0.3	0.47
	計	2.94	21.9	2.94	0.59	0.09	2.83	26.05	0.95	0.72	0.84	11.38	10.60	120.5	101.3	35.30	11.6	1.01
化学工業品	セメント	17.76	467.4	408.90	1.62	1.94	21.06	42.86	24.34	110.10	5.58			1,998.5	1,998.5		178.7	8.91
	生コンクリート				21.68		39.01		39.01	17.23	24.78						48.8	24.80
	セメント製品	7.88	4,320.0	42.88	3.79	4.19	11.33	30.67	12.20	10.30	7.75	5.00	25.40	1,321.1	724.5		2.9	8.14
	ガラス・ガラス製品	6.89		6.89	0.66	0.12	4.98	41.05	1.91	0.33	1.40	8.57	7.35	191.0	141.6	8.78	4.8	1.41
	陶磁器	3.86		3.86	0.18	0.16	2.46	10.89	1.16	3.73	0.68	31.28	1.26	0.3	4.5	27.64	3.4	0.69
	その他の窯業品	5.25		5.25	1.97	0.23	9.95	26.27	6.22	5.20	4.24	9.40	10.92	715.1	494.0	46.65	0.2	4.50
	重油	245.56	117.0	121.84	1.74	0.04	7.88	20.56	5.93	4.11	5.61			801.2	801.2		205.5	27.03
	揮発油	861.04	159.8	179.19	1.10	0.34	14.33	18.31	14.75	2.48	13.75			1,063.5	1,063.5		1,773.9	43.58
	その他の石油	65.43	137.0	123.92	0.40	0.10	13.03	19.79	9.76	4.26	4.08		15.00	991.6	973.8		529.6	12.06
	LNG・LPG	22.48	24.7	24.19	0.88	0.03	2.23	8.51	2.28	5.00	1.40			571.4	571.4		50.3	2.08
	その他の石油製品	33.96		33.96	2.99	0.18	12.85	13.42	11.58	9.33	6.43	87.55		949.8	926.5		668.2	7.48
	コークス	5.00		5.00	4.91	0.44	25.44	19.89	23.39		22.81		25.90	1,265.1	1,168.8		1,225.0	126.66
	その他の石炭製品	4.75		4.75	0.53	0.22	7.65	137.90	3.00	20.86	3.06			1,083.2	1,083.2		25.6	6.41
	化学薬品	6.48	45.7	9.33	0.41	0.26	5.70	13.91	2.87	6.26	1.25	8.80	14.74	429.5	347.9	34.67	127.3	2.18
	化学肥料	5.49	59.1	14.97	0.87	0.52	9.24	28.85	6.26	8.82	3.92	20.00		438.2	239.8		4.12	
	染料・顔料・塗料	2.15		2.15	0.19	0.18	3.02	15.14	0.97	1.93	0.68	1.47		58.4	46.7	147.06	4.5	0.69
	合成樹脂	5.20		5.20	0.40	0.14	2.53	22.20	0.72	0.43	0.65	5.24	19.59	176.0	48.2	78.39	11.6	0.71
	動植物性油脂	5.12		5.12	0.77	0.18	3.87	1.24	2.06	1.55	1.80	2.54		299.2	109.7	64.39	29.4	2.21
	その他の化学工業品	6.14		6.14	0.12	0.13	2.43	14.85	0.63	0.86	0.46	4.85	3.29	501.3	148.7	27.39	0.1	0.53
	計	6.48	186.1	20.97	3.22	0.17	7.69	22.72	2.99	1.75	3.07	5.70	10.68	788.5	565.8	27.02	11.9	3.80
軽工業品	ハルブ	30.11	87.6	37.34	1.83	0.21	33.33	24.08	5.36	2.31	4.70			100.00	710.6	618.6		6.84
	紙	14.51	129.5	19.04	1.25	0.13	4.00	19.79	2.05	4.79	1.89	15.61	59.27	404.0	106.9	60.23	2.0	2.22
	糸	3.59		3.59	0.24	0.17	3.75	35.69	0.68	0.75	0.58			0.5	0.5	3.00	2.8	0.60
	織物	1.22		1.22	0.22	0.08	2.09	7.09	0.17	0.20	0.18					42.22	0.1	0.18
	砂糖	6.08		6.08	0.50	0.49	4.92	30.44	3.75	6.43	2.74	14.35	42.59	17.3	20.0	159.99	39.9	2.97
	その他の食料工業品	4.74		4.74	0.35	0.17	2.02	12.66	0.78	1.02	0.62	8.77	7.32	89.1	41.4	76.23	1.8	0.64
	飲料	5.66		5.66	0.80	0.28	4.47	6.33	2.37	2.74	1.61	1.52	5.48	9.9	2.6	67.38	0.2	1.63
	計	6.71	128.5	7.72	0.50	0.15	2.83	14.15	1.01	1.39	0.84	9.49	43.90	195.3	62.9	60.55	1.9	0.90
雑工業品	書籍・印刷物・記録物	1.33	0.0	0.16	0.18	0.04	1.66	11.81	0.26	0.05	0.24				1.3	19.56	0.1	0.23
	がん具				0.41	0.04	0.35		0.09	0.04	0.10					72.54	0.0	0.10
	衣服・身の回り品	0.																

4) 代表輸送機関別にみた発業種構成、品目構成

代表輸送機関別に主要な発業種を重量ベースで見ると、宅配便等混載、一車貸切、フェリーを除く輸送機関では、流動量の多い上位10業種の占める割合が80%を超え、発業種が概ね特化されており、とりわけ車扱・その他、自家用トラックでは、上位3業種の占める割合が70%を超えている。具体的に発業種をみると、航空を除く輸送機関では、鉄鋼業、窯業・土石製品製造業、石油製品・石炭製品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、非金属鉱業など、流動ロットの大きい業種が上位に位置している。逆に、航空は電気機械器具製造業、衣服・身の回り品卸売業、繊維工業など、流動ロットの小さい業種が上位に位置している。一方、宅配便等混載は発業種が分散しており、他の輸送機関にみられるような発業種の特化傾向は見受けられず、最も流動量が多いのが11.9%を占める食料品製造業である(表3-2-8)。

次に、代表輸送機関別に主要な輸送品目をみると、車扱・その他、自家用トラック、一車貸切、トレーラー、その他船舶については、砂利・砂・石材、生コンクリート、セメント、重油、その他の石油、鉄鋼など、流動ロットの大きな品目が上位に位置している。鉄道コンテナ、コンテナ船、RORO船では紙のウェイトが高く、特にRORO船では46.7%を占めている。また、宅配便等混載、航空では、電気機械、その他食料工業品、その他化学工業品、衣服・身の回り品など流動ロットの小さい品目が上位を占めている(表3-2-9)。

表3 - 2 - 8 代表輸送機関別にみた発業種構成（重量ベース）

（3日間調査 単位：％）

順位	鉄道コンテナ		車扱・その他		自家用トラック	
	業種名	構成比	業種名	構成比	業種名	構成比
1	パルプ・紙・紙加工品（製造業）	20.4	石油製品・石炭製品（製造業）	49.3	窯業・土石製品（製造業）	44.0
2	食料品（製造業）	16.1	窯業・土石製品（製造業）	29.7	非金属（鉱業）	18.1
3	化学（製造業）	14.9	化学（製造業）	11.5	建築材料（卸売業）	12.3
4	1・2・3類（倉庫業）	10.9	パルプ・紙・紙加工品（製造業）	8.1	鉱物・金属材料（卸売業）	2.6
5	飲料・飼料・たばこ（製造業）	6.1	非鉄金属（製造業）	1.1	食料・飲料（卸売業）	2.5
6	窯業・土石製品（製造業）	6.1	出版・印刷（製造業）	0.2	再生資源（卸売業）	2.4
7	石油製品・石炭製品（製造業）	5.3	危険品〔タケ〕（倉庫業）	0.1	農畜産物・水産物（卸売業）	2.2
8	農畜産物・水産物（卸売業）	4.1	鉄鋼（製造業）	0.0	金属製品（製造業）	1.9
9	鉄鋼（製造業）	3.1	その他の卸売業（卸売業）	0.0	鉄鋼（製造業）	1.8
10	非鉄金属（製造業）	2.5	食料品（製造業）	0.0	食料品（製造業）	1.6
	上位10業種の占める割合	89.3	上位10業種の占める割合	100.0	上位10業種の占める割合	89.4

順位	宅配便等混載		一車貸切		トレーラー	
	業種名	構成比	業種名	構成比	業種名	構成比
1	食料品（製造業）	11.9	窯業・土石製品（製造業）	25.2	鉄鋼（製造業）	23.3
2	1・2・3類（倉庫業）	9.6	非金属（鉱業）	15.1	1・2・3類（倉庫業）	19.7
3	窯業・土石製品（製造業）	7.0	1・2・3類（倉庫業）	6.3	窯業・土石製品（製造業）	14.4
4	化学（製造業）	6.3	石油製品・石炭製品（製造業）	5.4	化学（製造業）	5.5
5	プラスチック製品（製造業）	5.2	食料品（製造業）	5.3	輸送用機械器具（製造業）	4.8
6	機械器具（卸売業）	5.0	建築材料（卸売業）	5.2	野積（倉庫業）	4.7
7	その他の卸売業（卸売業）	5.0	化学（製造業）	4.2	石油製品・石炭製品（製造業）	4.4
8	金属製品（製造業）	5.0	鉄鋼（製造業）	3.3	再生資源（卸売業）	2.7
9	電気機械器具（製造業）	4.7	飲料・飼料・たばこ（製造業）	3.1	飲料・飼料・たばこ（製造業）	2.4
10	一般機械器具（製造業）	3.3	輸送用機械器具（製造業）	2.9	パルプ・紙・紙加工品（製造業）	2.4
	上位10業種の占める割合	63.0	上位10業種の占める割合	76.0	上位10業種の占める割合	84.3

順位	フェリー		コンテナ船		R O R O 船	
	業種名	構成比	業種名	構成比	業種名	構成比
1	窯業・土石製品（製造業）	16.6	食料品（製造業）	30.1	パルプ・紙・紙加工品（製造業）	47.6
2	食料品（製造業）	13.6	パルプ・紙・紙加工品（製造業）	17.6	輸送用機械器具（製造業）	9.4
3	農畜産物・水産物（卸売業）	10.2	化学（製造業）	12.9	一般機械器具（製造業）	6.3
4	化学（製造業）	8.2	衣服・身の回り品（卸売業）	7.4	食料品（製造業）	6.0
5	パルプ・紙・紙加工品（製造業）	6.9	農畜産物・水産物（卸売業）	6.9	化学（製造業）	5.1
6	1・2・3類（倉庫業）	6.4	1・2・3類（倉庫業）	6.1	鉄鋼（製造業）	5.0
7	鉄鋼（製造業）	4.0	輸送用機械器具（製造業）	5.6	1・2・3類（倉庫業）	4.7
8	一般機械器具（製造業）	3.7	鉄鋼（製造業）	5.3	金属製品（製造業）	4.3
9	木材・木製品（製造業）	3.6	窯業・土石製品（製造業）	1.7	木材・木製品（製造業）	3.5
10	金属製品（製造業）	2.9	ゴム製品（製造業）	1.2	飲料・飼料・たばこ（製造業）	2.5
	上位10業種の占める割合	76.2	上位10業種の占める割合	94.8	上位10業種の占める割合	94.5

順位	その他船舶		航空		その他	
	業種名	構成比	業種名	構成比	業種名	構成比
1	石油製品・石炭製品（製造業）	35.5	電気機械器具（製造業）	27.7	石油製品・石炭製品（製造業）	24.0
2	非金属（鉱業）	18.0	食料品（製造業）	12.1	非金属（鉱業）	21.1
3	鉄鋼（製造業）	15.7	衣服・身の回り品（卸売業）	10.1	貯蔵そう（倉庫業）	13.2
4	窯業・土石製品（製造業）	8.8	1・2・3類（倉庫業）	7.8	鉄鋼（製造業）	8.5
5	化学（製造業）	6.8	繊維（製造業）	5.9	化学（製造業）	7.9
6	野積（倉庫業）	4.2	一般機械器具（製造業）	5.7	野積（倉庫業）	5.7
7	再生資源（卸売業）	2.2	機械器具（卸売業）	4.7	輸送用機械器具（製造業）	5.7
8	パルプ・紙・紙加工品（製造業）	1.5	飲料・飼料・たばこ（製造業）	3.6	窯業・土石製品（製造業）	4.2
9	1・2・3類（倉庫業）	1.4	化学（製造業）	3.4	農畜産物・水産物（卸売業）	4.0
10	食料品（製造業）	1.0	出版・印刷（製造業）	2.3	機械器具（卸売業）	2.0
	上位10業種の占める割合	95.2	上位10業種の占める割合	83.4	上位10業種の占める割合	96.2

注：「その他船舶」とは、ばら積み貨物船、タンカー、自動車専用船等を指す。

「その他」とは、パイプライン、バルクキャリア、自動車・船舶の自走等を指す。

表3 - 2 - 9 代表輸送機関別にみた品目構成（重量ベース）

（3日間調査 単位：％）

順位	鉄道コンテナ		車扱・その他		自家用トラック	
	品目名	構成比	品目名	構成比	品目名	構成比
1	紙	20.0	セメント	29.3	生コンクリート	32.1
2	その他の食料工業品	15.0	その他の石油	20.3	砂利・砂・石材	31.6
3	飲料	8.1	重油	14.8	金属製品	3.6
4	その他の化学工業品	7.8	揮発油	13.9	セメント製品	2.7
5	その他の窯業品	5.1	セメント製品	10.6	その他の食料工業品	2.5
6	合成樹脂	4.6	紙	7.9	鉄鋼	2.3
7	野菜・果物	3.6	化学薬品	1.8	鉄スクラップ	1.9
8	化学薬品	3.0	化学肥料	0.7	製材	1.6
9	動植物性油脂	3.0	LNG・LPG	0.4	その他の窯業品	1.5
10	非鉄金属	2.7	書籍・印刷物・記録物	0.2	野菜・果物	1.5
	上位10品目の占める割合	72.8	上位10品目の占める割合	99.8	上位10品目の占める割合	81.4

順位	宅配便等混載		一車貸切		トレーラー	
	品目名	構成比	品目名	構成比	品目名	構成比
1	その他の食料工業品	13.4	砂利・砂・石材	19.4	鉄鋼	39.1
2	電気機械	7.4	生コンクリート	9.8	セメント製品	7.2
3	金属製品	7.0	その他の食料工業品	5.5	セメント	4.4
4	その他の化学工業品	6.8	セメント製品	4.5	紙	3.8
5	衣服・身の回り品	5.4	鉄鋼	4.2	鉄スクラップ	3.7
6	合成樹脂	5.1	その他の窯業品	3.9	自動車	3.5
7	水産品	3.9	自動車部品	3.7	その他の非金属鉱物	2.9
8	自動車部品	3.4	金属製品	3.2	動植物性飼肥料	2.8
9	セメント製品	2.8	飲料	3.0	金属製品	2.4
10	産業機械	2.8	紙	3.0	非鉄金属	2.3
	上位10品目の占める割合	58.2	上位10品目の占める割合	60.3	上位10品目の占める割合	72.1

順位	フェリー		コンテナ船		RORO船	
	品目名	構成比	品目名	構成比	品目名	構成比
1	その他の食料工業品	12.2	紙	17.4	紙	46.7
2	野菜・果物	8.0	その他の農産品	12.9	産業機械	6.4
3	紙	7.1	その他の食料工業品	8.8	自動車部品	5.6
4	水産品	5.9	砂糖	8.2	鉄鋼	5.2
5	鉄鋼	5.0	衣服・身の回り品	7.4	木製品	4.2
6	砂利・砂・石材	4.7	野菜・果物	6.8	自動車	4.2
7	金属製品	3.8	合成樹脂	5.8	金属製品	3.8
8	その他の化学工業品	3.7	鉄鋼	5.0	砂糖	3.8
9	生コンクリート	3.6	その他の化学工業品	4.9	合成樹脂	3.8
10	セメント製品	3.5	自動車部品	4.4	動植物性飼肥料	2.4
	上位10品目の占める割合	57.5	上位10品目の占める割合	81.7	上位10品目の占める割合	86.2

順位	その他船舶		航空		その他	
	品目名	構成比	品目名	構成比	品目名	構成比
1	鉄鋼	15.4	電気機械	30.1	石灰石	18.3
2	重油	12.5	衣服・身の回り品	11.9	揮発油	12.9
3	砂利・砂・石材	12.0	その他の食料工業品	8.2	雑穀・豆	11.0
4	その他の石油	11.3	その他の化学工業品	7.4	鉄鋼	8.8
5	揮発油	8.5	織物	4.7	自動車	7.5
6	石灰石	6.5	文房具・運動娯楽用品	3.8	その他の石油	6.0
7	セメント	5.0	野菜・果物	3.8	化学薬品	5.7
8	化学薬品	4.7	飲料	3.5	砂利・砂・石材	4.7
9	石炭	3.9	精密機械	3.1	野菜・果物	3.6
10	鉄スクラップ	2.5	書籍・印刷物・記録物	3.1	石炭	3.0
	上位10品目の占める割合	82.2	上位10品目の占める割合	79.6	上位10品目の占める割合	81.7

注：「その他船舶」とは、ばら積み貨物船、タンカー、自動車専用船等を指す。

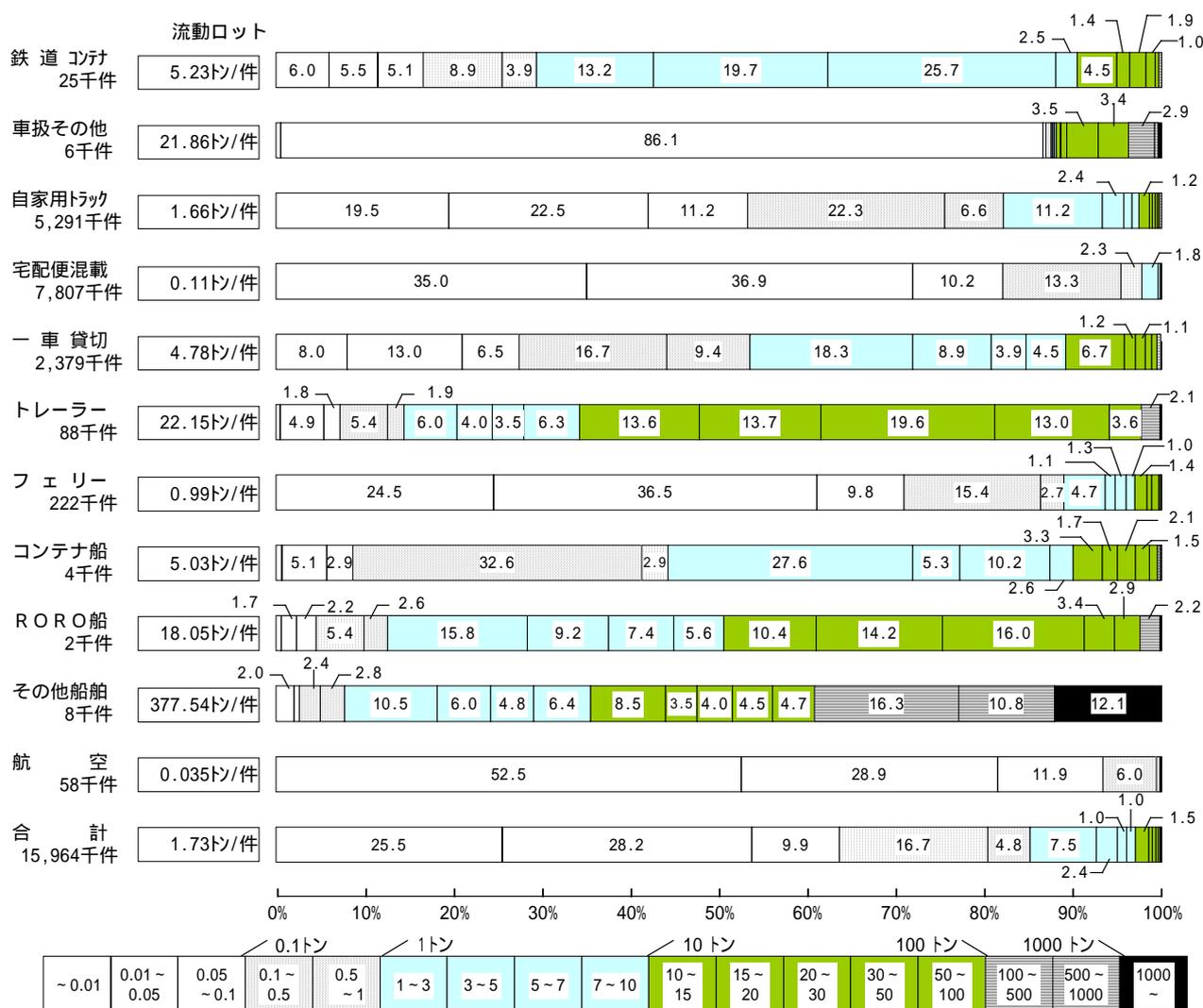
「その他」とは、パイプライン、バルコンパイプ、自動車・船舶の自走等を指す。

5) 代表輸送機関別流動ロット分布

代表輸送機関別にロット階層別の流動件数分布をみると、鉄道コンテナでは10トン未満が90.5%を占める。一方、車扱その他は10～50kgの階層が86.1%を占めるが、これは件数ベースでみた場合旅客列車を利用した雑誌・新聞輸送のウェイトが高いためである。トラックでは、自家用トラックが1トン未満の貨物が82.1%を占めるのに対し、一車貸切は53.5%であり、自家用トラックは一車貸切より小ロットの貨物の比率が高い。また、トレーラーは、10トン以上の貨物が65.2%を占めている。一方、小ロット貨物が主体である宅配便等混載は100kg未満が82.1%を占め、航空は10kg未満の貨物が52.5%に達し、100kg未満では93.3%を占める。一方、海運ではその他船舶で大ロット貨物の比率が高く、100トン以上で39.2%を占める。コンテナ船、RORO船は、その他船舶よりも流動ロットは小さく、10トン未満の貨物が各々90.0%、50.6%を占めている（図3-2-12）。

図3-2-12 代表輸送機関別流動ロット分布（件数ベース）

（3日間調査 単位：千件、トン/件、%）



(4) 都道府県別流動量・流動ロット

1) 発都道府県別流動量・流動ロット

発都道府県別に流動量をみると、まず重量ベースでは愛知が7.5%を占め最も多く、以下、北海道、大阪、千葉、神奈川、東京、福岡、兵庫、静岡、岡山の順であり、この10都道府県で全国の48.2%（95年間調査は48.5%）を占める。

件数ベースでは、最も多いのが東京（13.5%）であり、次いで大阪（9.8%）、愛知（7.6%）が多く、この3都府県で全国の30.9%を占める。以下、埼玉、福岡、神奈川、兵庫、北海道、静岡、千葉の順であり、この10都道府県で全国の57.3%（95年間調査は57.1%）を占め、重量ベースに比べ地域による偏りが大きくなっている。

流動ロットをみると、三重、高知、沖縄、山口、千葉、大分では、全国平均（1.73トン）に比べ、流動ロットが2倍以上となっている（表3-2-10）。

表3-2-10 流動量・流動ロットの上位10発都道府県

（3日間調査 単位：%、トン/件）

【2000年】

順位	重量ベース		件数ベース		流動ロット	
	発都道府県	構成比	発都道府県	構成比	発都道府県	ロット
1	愛知県	7.5%	東京都	13.5%	三重県	4.00
2	北海道	6.0%	大阪府	9.8%	高知県	3.93
3	大阪府	5.7%	愛知県	7.6%	沖縄県	3.87
4	千葉県	5.4%	埼玉県	4.9%	山口県	3.81
5	神奈川県	5.0%	福岡県	4.5%	千葉県	3.75
6	東京都	4.2%	神奈川県	4.1%	大分県	3.57
7	福岡県	4.1%	兵庫県	3.5%	北海道	2.99
8	兵庫県	3.6%	北海道	3.5%	群馬県	2.96
9	静岡県	3.5%	静岡県	3.4%	岡山県	2.85
10	岡山県	3.2%	千葉県	2.5%	青森県	2.83
	上位10発都道府県計	48.2%	上位10発都道府県計	57.3%	全国平均	1.73

【95年】

順位	重量ベース		件数ベース		流動ロット	
	発都道府県	構成比	発都道府県	構成比	発都道府県	ロット
1	愛知県	6.6%	東京都	13.1%	高知県	7.71
2	大阪府	5.6%	大阪府	9.6%	山口県	5.96
3	北海道	5.4%	愛知県	7.9%	大分県	5.19
4	神奈川県	5.3%	埼玉県	5.4%	青森県	4.84
5	千葉県	5.2%	福岡県	4.2%	鹿児島	4.50
6	福岡県	4.8%	神奈川県	4.1%	千葉県	4.15
7	東京都	4.5%	静岡県	3.5%	沖縄県	4.03
8	兵庫県	4.2%	北海道	3.4%	三重県	3.82
9	静岡県	3.4%	兵庫県	3.4%	長崎県	3.56
10	埼玉県	3.4%	千葉県	2.7%	茨城県	3.48
	上位10発都道府県計	48.5%	上位10発都道府県計	57.1%	全国平均	2.13

2) 発都道府県別流動量の品目構成

発都道府県別に流動量（件数ベース）の上位3位までの品目をみると、その他食料工業品、金属製品、衣服・身の回り品、電気機械、その他化学工業品、書籍・印刷物・記録物など、比較的流動ロットが小さい品目が上位3位内に位置しており、とりわけその他食料工業品は、35県で上位3位内（うち13県で1位）となっている。また、大消費地である東京、大阪では、衣服・身の回り品が1位である。また、愛知の自動車部品、徳島のその他化学工業品のように、地元の主要産業に関連する品目が1位となっている県もある。

上位3品目の占めるウェイトを発都道府県別にみると、徳島、山梨、香川、青森、佐賀、愛媛、大分、沖縄では50%を超えており、一方、茨城、北海道、宮城、大阪では30%未満となっている（表3-2-11）。

なお、重量ベースでみた場合には、総じて砂利・砂・石材、生コンクリートが上位に位置しており、34の県でこの2品目が上位3品目に含まれている。

表3 - 2 - 11 発都道府県別流動件数および上位3品目

(3日間調査 単位:件,%)

発都道府県	流動件数	第1位		第2位		第3位	
		品目名	構成比	品目名	構成比	品目名	構成比
北海道	558,328	その他の食料工業品	10.9	衣服・身の回り品	8.5	自動車部品	8.4
青森	129,592	書籍・印刷物・記録物	36.9	その他の食料工業品	9.7	金属製品	7.3
岩手	138,832	木製品	16.3	その他の食料工業品	12.7	産業機械	8.9
宮城	353,233	木製品	10.2	陶磁器	9.0	その他の食料工業品	8.9
秋田	84,627	金属製品	15.4	製材	9.8	その他の石油	9.3
山形	117,431	その他の食料工業品	17.6	書籍・印刷物・記録物	16.0	その他の化学工業品	11.1
福島	230,211	書籍・印刷物・記録物	21.7	その他の食料工業品	13.0	電気機械	6.9
茨城	324,290	その他の食料工業品	9.5	金属製品	9.2	合成樹脂	8.9
栃木	265,062	合成樹脂	25.4	文房具・運動娯楽用品	10.4	その他の食料工業品	9.1
群馬	215,934	その他の食料工業品	17.7	書籍・印刷物・記録物	13.4	飲料	8.1
埼玉	779,050	金属製品	14.5	その他の食料工業品	9.9	電気機械	9.8
千葉	401,288	その他の食料工業品	16.9	書籍・印刷物・記録物	11.6	その他の製造工業品	7.2
東京	2,147,210	衣服・身の回り品	13.7	電気機械	10.3	その他の製造工業品	6.7
神奈川	661,903	その他の食料工業品	17.8	電気機械	9.5	金属製品	8.3
新潟	295,446	金属製品	13.8	その他の食料工業品	9.6	製材	7.7
富山	166,049	金属製品	23.4	その他の食料工業品	11.0	その他の化学工業品	10.8
石川	157,775	紙	19.5	電気機械	15.6	その他の食料工業品	7.6
福井	115,365	衣服・身の回り品	21.5	野菜・果物	10.5	織物	8.3
山梨	138,290	衣服・身の回り品	29.0	その他の化学工業品	16.6	電気機械	11.2
長野	326,635	金属製品	18.1	その他の食料工業品	12.5	電気機械	11.6
岐阜	386,839	砂利・砂・石材	32.4	その他の食料工業品	8.2	衣服・身の回り品	6.9
静岡	540,785	金属製品	16.7	その他の食料工業品	11.3	その他の化学工業品	9.7
愛知	1,220,810	自動車部品	10.6	その他の食料工業品	9.9	電気機械	9.8
三重	188,914	書籍・印刷物・記録物	17.8	自動車部品	13.7	電気機械	13.5
滋賀	168,765	文房具・運動娯楽用品	17.2	その他の食料工業品	9.8	その他の化学工業品	9.2
京都	393,145	その他の食料工業品	15.3	書籍・印刷物・記録物	12.6	その他の農産品	7.3
大阪	1,557,968	衣服・身の回り品	12.5	金属製品	9.9	その他の日用品	7.3
兵庫	558,881	衣服・身の回り品	12.6	その他の食料工業品	11.7	金属製品	7.7
奈良	111,745	金属製品	14.2	砂利・砂・石材	13.2	衣服・身の回り品	10.2
和歌山	137,797	産業機械	17.0	金属製品	9.4	その他の化学工業品	8.6
鳥取	50,384	その他の食料工業品	21.7	電気機械	8.2	木製品	7.2
島根	91,791	その他の食料工業品	28.4	書籍・印刷物・記録物	11.6	電気機械	8.7
岡山	307,376	衣服・身の回り品	16.3	野菜・果物	11.7	その他の化学工業品	7.5
広島	378,742	その他の化学工業品	14.3	その他の食料工業品	13.9	衣服・身の回り品	9.1
山口	163,807	金属製品	30.4	水産品	12.8	その他の食料工業品	5.6
徳島	68,202	その他の化学工業品	38.5	電気機械	13.9	衣服・身の回り品	6.0
香川	183,942	その他の食料工業品	25.6	紙	15.8	その他の化学工業品	13.8
愛媛	159,431	文房具・運動娯楽用品	30.1	その他の食料工業品	12.0	合成樹脂	9.5
高知	49,584	その他の輸送機械	17.9	その他の食料工業品	14.2	取り合せ品	10.8
福岡	714,116	電気機械	12.3	その他の食料工業品	11.8	衣服・身の回り品	7.6
佐賀	130,470	その他の食料工業品	32.5	ゴム製品	10.4	自動車部品	9.1
長崎	121,887	水産品	18.1	その他の食料工業品	17.4	衣服・身の回り品	14.5
熊本	174,368	水産品	15.0	精密機械	11.3	紙	10.3
大分	153,555	木製品	21.8	製材	15.0	その他の製造工業品	14.8
宮崎	97,688	その他の製造工業品	18.8	その他の食料工業品	12.1	飲料	8.7
鹿児島	175,922	その他の食料工業品	15.2	書籍・印刷物・記録物	9.7	野菜・果物	9.2
沖縄	70,065	その他の食料工業品	26.2	その他の化学工業品	13.6	金属製品	10.2
合計	15,963,530	その他の食料工業品	10.2	衣服・身の回り品	7.6	金属製品	7.4

3) 発都道府県別流動量の代表輸送機関分担

発都道府県別に重量ベースでの代表輸送機関分担をみると、トラックのシェアは大分を除く県で最も高く、このうち38県でシェアが70%以上である。特に、栃木(99.3%)、埼玉(97.2%)、東京(97.9%)、新潟(95.9%)、富山(96.4%)、石川(99.6%)、福井(98.4%)、山梨(99.9%)、長野(99.6%)、岐阜(98.7%)、滋賀(99.0%)、京都(98.9%)、奈良(99.5%)、和歌山(98.5%)、佐賀(98.1%)、熊本(95.9%)では95%を超えている。一方、トラックのシェアが70%未満の県は、青森、千葉、岡山、広島、山口、香川、愛媛、大分、沖縄の各県であり、地域別には西日本でのシェアが東日本に比べてやや低くなっている。また、自家用トラックのシェアが50%を超えるのは11県であり、最もシェアが高いのは長野(68.9%)である。

海運についてみると、大分(48.0%)でその他船舶が第1位のシェアである。このほか、青森(21.6%)、千葉(28.0%)、兵庫(20.7%)、岡山(23.0%)、広島(30.0%)、山口(37.4%)、香川(39.5%)、愛媛(29.5%)、高知(27.2%)で、その他船舶のシェアが20%以上であり、地域的には東京湾、瀬戸内海沿岸の県、九州地方で比較的高いシェアとなっている。

鉄道のシェアは、宮城(2.1%)、神奈川(2.2%)、新潟(2.8%)、三重(4.6%)、鳥取(5.2%)、宮崎(2.2%)の各県で2%を超えている。

航空のシェアは、山形、東京、大阪、長崎、宮崎、沖縄などで比較的高くなっている(表3-2-12)。

表3 - 2 - 12 発都道府県別にみた代表輸送機関分担（重量ベース）

（3日間調査 単位：％）

発都道府県	鉄 道			ト ラ ッ ク							海 運				航 空	そ の 他	合 計
	鉄 道 コンテナ	車扱・ その他	計	自家用 トラック	営業用トラック			フェリ- 計	計	コンテナ 船	RORO船	その他 船舶	計				
					宅配便 等混載	一 車 貸 切	トレー-										
北海道	0.86	0.82	1.68	9.1	1.4	64.5	7.1	73.0	2.36	84.4	0.44	1.01	10.1	11.6	0.012	2.3	100.0
青 森	0.49	0.40	0.90	25.4	1.9	31.4	2.5	35.9	0.32	61.6	0.00	0.00	21.6	21.6	0.000	15.9	100.0
岩 手	0.27	0.13	0.40	34.2	1.3	44.6	2.2	48.1	0.22	82.5	0.00	0.05	16.5	16.6	0.003	0.5	100.0
宮 城	1.51	0.61	2.12	28.0	4.6	54.5	7.3	66.4	0.49	94.9	0.01	0.47	1.6	2.1	0.002	0.9	100.0
秋 田	1.13	0.36	1.48	54.1	0.9	37.1	1.6	39.6	0.06	93.8	0.00	0.00	4.4	4.4	0.004	0.3	100.0
山 形	0.84	0.00	0.84	43.0	2.8	41.7	2.6	47.1	1.44	91.6	0.01	0.04	0.0	0.0	0.024	7.5	100.0
福 島	0.61	0.11	0.72	43.7	2.4	49.3	2.1	53.8	0.14	97.6	0.02	0.00	0.0	0.0	0.001	1.6	100.0
茨 城	0.51	0.32	0.83	20.3	2.7	46.4	12.9	62.0	0.33	82.6	0.01	0.03	8.8	8.9	0.002	7.7	100.0
栃 木	0.57	0.00	0.57	59.1	1.7	34.5	3.7	39.9	0.31	99.3	0.00	0.09	0.0	0.1	0.003	0.1	100.0
群 馬	0.17	0.00	0.17	56.5	2.3	28.2	4.1	34.7	0.10	91.3	0.02	0.13	0.2	0.4	0.001	8.2	100.0
埼 玉	0.29	0.80	1.09	31.1	4.8	56.6	4.4	65.7	0.38	97.2	0.02	0.02	0.2	0.2	0.005	1.5	100.0
千 葉	0.33	1.03	1.36	16.4	1.2	31.3	10.4	42.9	0.31	59.6	0.11	0.07	28.0	28.2	0.004	10.9	100.0
東 京	0.14	0.00	0.14	41.6	8.8	42.9	4.4	56.0	0.29	97.9	0.07	0.00	0.0	0.1	0.026	1.8	100.0
神奈川	0.42	1.73	2.15	21.1	2.3	40.8	11.3	54.3	0.32	75.8	0.06	0.11	19.7	19.9	0.007	2.2	100.0
新 潟	0.57	2.26	2.82	47.2	3.2	36.3	7.9	47.4	1.26	95.9	0.00	0.00	0.7	0.7	0.001	0.6	100.0
富 山	1.45	0.00	1.45	16.6	3.5	73.7	2.4	79.6	0.21	96.4	0.00	0.00	0.2	0.2	0.001	1.9	100.0
石 川	0.33	0.00	0.33	56.2	4.1	35.1	2.8	42.0	1.30	99.6	0.00	0.00	0.0	0.0	0.006	0.1	100.0
福 井	1.49	0.00	1.49	51.0	3.6	37.2	6.6	47.4	0.08	98.4	0.00	0.00	0.0	0.0	0.001	0.0	100.0
山 梨	0.03	0.00	0.03	56.0	2.8	39.6	1.3	43.7	0.19	99.9	0.00	0.01	0.0	0.0	0.004	0.1	100.0
長 野	0.31	0.00	0.31	68.9	2.8	26.9	1.0	30.6	0.14	99.6	0.00	0.00	0.0	0.0	0.001	0.0	100.0
岐 阜	0.27	0.08	0.35	48.4	4.4	43.2	2.3	49.9	0.38	98.7	0.01	0.00	0.0	0.1	0.002	0.9	100.0
静 岡	0.40	0.05	0.46	32.8	4.1	44.0	11.6	59.7	0.55	93.0	0.01	0.06	6.0	6.1	0.003	0.4	100.0
愛 知	0.15	0.06	0.21	30.7	3.2	45.4	12.2	60.8	0.50	92.0	0.00	0.03	3.9	4.0	0.003	3.8	100.0
三 重	1.04	3.54	4.57	30.8	1.5	35.7	9.5	46.7	0.33	77.8	0.01	0.00	16.6	16.6	0.001	1.1	100.0
滋 賀	0.45	0.00	0.45	47.6	3.7	39.9	7.2	50.8	0.63	99.0	0.01	0.01	0.2	0.2	0.002	0.3	100.0
京 都	0.23	0.00	0.23	55.4	4.4	37.3	1.3	42.9	0.60	98.9	0.00	0.00	0.1	0.1	0.003	0.8	100.0
大 阪	0.73	0.00	0.73	22.7	5.8	45.6	11.0	62.3	0.89	85.9	0.10	0.12	10.9	11.1	0.020	2.2	100.0
兵 庫	0.25	0.00	0.25	26.1	3.2	38.1	8.6	49.9	1.14	77.1	0.01	0.26	20.7	21.0	0.007	1.6	100.0
奈 良	0.41	0.00	0.41	50.6	8.3	37.1	2.0	47.4	1.48	99.5	0.09	0.00	0.0	0.1	0.003	0.0	100.0
和歌山	0.39	0.00	0.39	41.0	2.2	51.9	2.7	56.7	0.77	98.5	0.00	0.13	0.0	0.1	0.000	1.0	100.0
鳥 取	5.15	0.00	5.15	36.8	4.4	47.2	5.9	57.5	0.12	94.4	0.00	0.00	0.4	0.4	0.001	0.0	100.0
島 根	0.04	0.00	0.04	42.5	1.8	43.8	0.8	46.3	0.35	89.2	0.00	0.02	9.8	9.9	0.000	0.9	100.0
岡 山	0.22	0.00	0.22	15.3	1.3	42.8	7.6	51.7	0.08	67.0	0.07	0.02	23.0	23.1	0.001	9.6	100.0
広 島	0.31	0.00	0.31	11.7	2.6	43.3	6.7	52.6	0.19	64.5	0.11	0.01	30.0	30.1	0.003	5.0	100.0
山 口	0.74	0.15	0.89	13.6	1.0	36.7	5.0	42.7	0.51	56.9	0.31	0.05	37.4	37.7	0.006	4.5	100.0
徳 島	0.50	0.00	0.50	48.5	4.3	26.1	4.4	34.8	0.66	84.0	0.09	0.00	12.1	12.2	0.003	3.3	100.0
香 川	0.35	0.00	0.36	24.2	2.8	26.7	4.3	33.9	1.68	59.7	0.02	0.00	39.5	39.5	0.003	0.4	100.0
愛 媛	0.28	0.00	0.28	35.7	1.4	27.3	2.0	30.7	2.99	69.4	0.04	0.00	29.5	29.5	0.005	0.8	100.0
高 知	0.03	0.00	0.03	34.0	1.4	35.4	0.1	36.9	1.87	72.7	0.03	0.00	27.2	27.3	0.016	0.0	100.0
福 岡	0.26	0.71	0.97	37.2	3.5	31.0	6.8	41.3	1.16	79.6	0.14	0.06	9.5	9.7	0.012	9.7	100.0
佐 賀	0.72	0.00	0.72	25.7	4.6	50.6	14.9	70.0	2.40	98.1	0.11	0.01	0.4	0.5	0.015	0.6	100.0
長 崎	0.00	0.08	0.08	41.6	2.9	28.8	1.4	33.1	0.41	75.2	0.00	0.01	19.6	19.6	0.028	5.2	100.0
熊 本	0.37	0.00	0.37	53.3	2.1	31.2	6.3	39.6	2.98	95.9	0.01	0.01	2.5	2.5	0.013	1.3	100.0
大 分	0.19	0.00	0.19	19.1	0.5	23.2	1.4	25.1	2.02	46.2	0.06	0.04	48.0	48.1	0.003	5.5	100.0
宮 崎	2.09	0.11	2.20	59.5	1.4	28.1	1.6	31.1	3.44	94.1	0.00	0.73	2.5	3.2	0.024	0.5	100.0
鹿 児 島	0.63	0.00	0.63	39.3	1.4	36.7	11.9	50.1	3.95	93.4	0.03	0.00	1.6	1.6	0.012	4.4	100.0
沖 縄	0.00	0.00	0.00	28.3	0.1	25.0	10.9	36.0	0.25	64.5	0.00	0.01	19.1	19.1	0.068	16.3	100.0
合 計	0.48	0.44	0.92	31.7	3.0	41.1	7.1	51.2	0.80	83.7	0.07	0.12	11.6	11.8	0.008	3.6	100.0

4) 発都道府県別県間流動比率

県間流動比率とは、各都道府県流動量（発量）から同一県内の流動量を除いた流動量（県間流動量）の比率をいう。都道府県トータルの県間流動比率は、重量ベースで36.2%、件数ベースで50.9%である。

県間流動量の上位10発都道府県を、県内流動量を含めた上位10発都道府県と比べると、重量、件数ベースともに概ね顔触れは変わっていない。新たに含まれる県は、重量ベースでは茨城、埼玉であり、件数ベースでは岐阜である（表3-2-13）。

県間流動比率（重量ベース）を代表輸送機関別にみると、都道府県計では鉄道コンテナ（99.8%）、宅配便等混載（76.1%）、海運（82.6%）が高いのに対し、自家用トラック（11.7%）は低い。

発都道府県別（重量ベース）にみると茨城が55.4%で最も高く、このほか千葉（53.0%）、埼玉（52.6%）、山口（51.7%）で50%を超える。一方、県間流動比率の低い県は、北海道（12.2%）、長野（13.4%）、長崎（14.0%）、沖縄（14.3%）、宮崎（15.8%）、秋田（18.0%）などである。代表輸送機関別にみると、北海道と沖縄では、一車貸切における県間流動比率が極めて低くなっている（表3-2-14）。

表3-2-13 県間流動量の上位10発都道府県
(3日間調査 単位：%)

順位	重量ベース		件数ベース	
	発都道府県	全国の県間流動量に占める構成比	発都道府県	全国の県間流動量に占める構成比
1	千葉県	8.0%	東京都	16.2%
2	神奈川県	6.4%	大阪府	12.1%
3	大阪府	5.7%	愛知県	6.1%
4	愛知県	5.5%	埼玉県	5.0%
5	東京都	5.2%	神奈川県	4.4%
6	兵庫県	4.4%	福岡県	4.3%
7	岡山県	4.3%	静岡県	3.5%
8	埼玉県	4.2%	兵庫県	3.2%
9	茨城県	4.1%	岐阜県	2.9%
10	静岡県	3.6%	千葉県	2.8%
	上位10発都道府県計	51.4%	上位10発都道府県計	60.5%

表3 - 2 - 14 発都道府県別・代表輸送機関別県間流動比率

(3日間調査 単位：%)

発県	重量ベース								件数ベース							
	鉄道 コソ	車扱 その他	自家用 トラック	宅配便 等混載	一車 貸切	海運	総計	総計 (95年)	鉄道 コソ	車扱 その他	自家用 トラック	宅配便 等混載	一車 貸切	海運	総計	総計 (95年)
北海道	98.1	0.0	0.0	34.0	3.3	71.6	12.2	11.3	98.5	0.0	0.0	15.2	6.8	95.3	11.5	11.4
青森	100.0	100.0	5.3	96.9	26.6	97.1	34.3	27.4	100.0	100.0	1.3	85.0	32.9	95.8	23.2	40.4
岩手	100.0	100.0	10.6	74.6	33.2	100.0	37.2	29.3	100.0	100.0	5.0	81.0	26.4	100.0	35.9	38.7
宮城	100.0	100.0	5.9	75.8	30.5	95.1	28.3	26.8	100.0	100.0	2.3	86.1	49.7	99.2	37.6	56.2
秋田	100.0	100.0	0.7	79.3	28.4	100.0	18.0	27.4	100.0	100.0	2.3	66.7	44.2	100.0	25.7	47.9
山形	100.0	-	1.2	91.2	58.4	100.0	30.7	18.6	100.0	-	4.3	93.1	57.5	100.0	71.1	47.4
福島	100.0	100.0	6.6	67.6	44.6	100.0	28.3	41.2	100.0	100.0	6.9	67.8	53.2	100.0	45.6	60.2
茨城	100.0	100.0	12.0	88.8	68.6	99.7	55.4	50.5	100.0	100.0	9.6	86.9	66.4	99.8	50.1	59.2
栃木	100.0	-	29.9	89.3	59.3	100.0	42.7	51.5	100.0	-	34.8	94.3	67.0	100.0	78.7	57.6
群馬	100.0	-	20.0	84.5	51.8	100.0	38.8	47.8	100.0	-	16.0	89.2	63.9	100.0	51.5	60.4
埼玉	100.0	100.0	41.8	75.9	55.1	100.0	52.6	51.6	100.0	100.0	23.5	75.1	48.6	100.0	52.4	73.8
千葉	99.9	100.0	10.8	84.9	60.5	83.0	53.0	49.7	99.9	100.0	22.5	72.1	73.5	87.3	57.4	48.3
東京	100.0	100.0	23.3	57.8	64.0	99.7	45.5	39.3	100.0	100.0	26.3	76.7	52.2	94.1	61.2	61.8
神奈川	100.0	100.0	8.4	81.9	43.4	88.5	46.2	43.8	100.0	100.0	22.4	80.8	48.1	94.9	53.8	46.7
新潟	100.0	87.6	1.8	86.6	34.7	78.9	22.6	21.1	100.0	81.4	1.8	80.0	36.0	90.3	45.6	43.4
富山	100.0	-	6.6	91.7	23.9	100.0	24.3	26.2	99.6	-	5.6	90.1	36.3	100.0	65.1	58.0
石川	100.0	-	5.0	87.9	54.6	-	28.3	31.5	100.0	-	12.0	75.1	18.9	-	41.5	54.4
福井	100.0	-	3.7	74.5	63.0	100.0	33.7	24.4	100.0	-	3.8	91.7	63.0	100.0	66.3	61.4
山梨	100.0	-	10.1	95.3	31.3	100.0	21.2	35.3	100.0	-	5.0	92.1	44.4	100.0	63.7	52.3
長野	100.0	-	2.7	78.5	32.1	100.0	13.4	13.7	100.0	-	3.5	79.1	60.1	100.0	44.1	45.0
岐阜	100.0	93.5	23.3	89.7	46.9	100.0	37.2	32.2	100.0	30.2	22.1	88.8	76.1	100.0	61.5	66.3
静岡	99.9	100.0	8.5	75.6	45.4	86.4	37.1	33.7	99.8	100.0	4.2	81.0	50.9	95.7	52.3	43.1
愛知	99.8	91.2	8.4	68.0	31.6	81.4	26.5	32.6	99.7	96.7	10.3	72.8	34.1	98.2	40.9	46.9
三重	100.0	37.1	22.1	92.2	47.7	92.6	47.6	44.8	100.0	87.0	7.0	94.0	56.5	88.9	55.6	53.3
滋賀	100.0	-	7.0	88.3	67.7	100.0	39.6	34.9	100.0	-	6.4	94.6	70.8	100.0	58.2	62.3
京都	100.0	-	26.1	79.5	62.1	100.0	42.6	42.9	100.0	-	5.7	94.2	65.0	100.0	54.5	65.3
大阪	100.0	-	13.2	77.2	37.4	62.0	36.6	42.6	100.0	-	12.2	82.5	43.1	98.7	63.1	56.9
兵庫	99.8	-	15.0	84.5	48.0	64.6	43.4	42.1	99.8	-	7.1	89.3	60.4	89.5	45.9	56.9
奈良	100.0	-	9.2	98.0	77.2	100.0	44.6	36.5	100.0	-	15.7	93.1	72.2	100.0	64.8	72.2
和歌山	100.0	-	6.9	96.6	51.1	100.0	33.7	54.8	100.0	-	2.6	97.1	51.7	100.0	31.8	66.5
鳥取	100.0	-	4.0	93.4	60.3	100.0	43.2	19.7	100.0	-	6.4	72.8	72.6	100.0	43.8	32.4
島根	100.0	-	3.1	70.8	23.2	87.1	21.8	29.6	100.0	-	3.6	62.0	51.8	89.3	42.6	49.5
岡山	100.0	-	11.4	86.5	49.4	92.1	49.3	49.5	100.0	-	12.7	87.3	47.2	92.5	58.6	45.4
広島	100.0	-	5.4	82.4	23.1	86.2	40.7	33.1	100.0	-	3.1	79.2	37.4	85.9	49.1	46.7
山口	100.0	100.0	10.0	89.4	40.0	83.8	51.7	58.0	100.0	100.0	6.7	91.2	65.0	94.3	68.5	38.8
徳島	100.0	-	5.4	88.5	59.9	100.0	37.8	49.5	100.0	-	15.6	68.0	71.6	100.0	55.8	53.1
香川	100.0	100.0	7.8	93.8	42.8	69.8	46.4	55.4	100.0	100.0	7.7	93.2	66.2	79.1	50.6	51.4
愛媛	100.0	-	2.3	85.3	33.9	96.4	41.7	31.5	100.0	-	0.7	84.5	46.6	96.4	25.9	33.8
高知	100.0	-	6.2	86.4	16.6	100.0	36.7	21.6	100.0	-	2.4	86.3	66.5	100.0	55.0	47.7
福岡	100.0	0.0	6.8	73.1	32.5	99.3	27.7	41.1	100.0	0.0	7.1	68.7	39.3	98.9	48.6	46.0
佐賀	100.0	-	8.8	94.0	46.1	23.8	38.8	42.9	100.0	-	22.0	89.8	84.7	70.4	69.0	58.5
長崎	100.0	0.0	3.2	85.7	19.1	22.1	14.0	17.9	100.0	0.0	1.8	80.8	33.2	35.3	44.3	26.7
熊本	100.0	-	8.2	58.8	41.2	4.5	22.9	29.5	100.0	-	4.0	59.1	55.3	49.9	31.9	58.8
大分	100.0	-	4.1	88.0	22.8	82.7	47.5	57.7	100.0	-	0.5	87.7	45.3	89.0	24.2	35.5
宮崎	100.0	100.0	0.7	84.3	26.4	100.0	15.8	25.4	100.0	100.0	1.8	90.7	34.8	100.0	40.6	29.6
鹿児島	100.0	-	1.9	72.3	37.3	99.5	22.6	8.4	100.0	-	2.8	65.1	78.6	79.5	38.8	30.1
沖縄	-	-	0.0	17.6	0.4	73.8	14.3	0.3	-	-	0.0	0.1	0.9	36.6	3.7	1.0
総計	99.8	66.6	11.7	76.1	39.8	82.6	36.2	36.8	99.8	20.5	10.8	78.0	48.9	93.9	50.9	52.2

(5) コンテナ利用状況

「3日間調査」における「コンテナ」とは、国際海上コンテナ（20、40フィート、背高など）、鉄道コンテナ（5、10トンなど）、内航コンテナ（10、12フィートなど）、航空コンテナなどである。

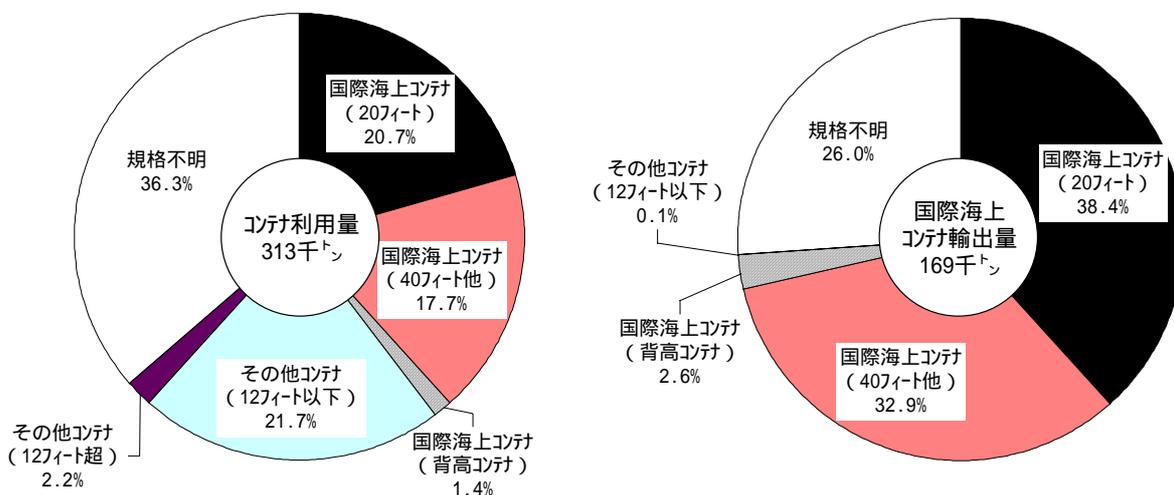
国内流動においてコンテナを利用した流動量は約31万3千トンであり、全流動量に対するコンテナ利用率（重量ベース）は1.6%である。コンテナを利用した流動量をコンテナの規格別にみると、国際海上コンテナの20フィートコンテナが20.7%であり、40フィートコンテナ他が17.7%である。背高コンテナ、規格不明を含めた国際海上コンテナ全体では53.9%を占める。一方、鉄道、内航、国内航空、国際航空で利用されるその他のコンテナでは、12フィート以下のコンテナが21.7%を占め、12フィートを越えるコンテナ、規格不明を含めると46.1%となる。

また、国際海上コンテナ貨物（輸出）に限定した場合、コンテナを利用した流動量は約17万トンであり、全輸出量（約56万1千トン）に占めるコンテナ利用率は30.1%である。コンテナの規格別にみると、20フィートコンテナが38.4%、40フィートコンテナ他

注：本調査では、貨物の出荷側の事業所を調査対象としているため、輸送途上からのコンテナ利用については、一部捉えられていないものがあると考えられる。また、あくまで国内輸送におけるコンテナの利用状況を調査しているため、港湾埠頭地区の施設で輸出のためコンテナ詰めされたものはコンテナ利用とならない。

図3 - 2 - 13 コンテナ規格別コンテナ利用量（重量ベース）

（3日間調査 単位：千トン，%）



注：左図の規格不明の内訳は、国内貨物22.0%、国際海上貨物14.0%、国際航空貨物0.3%。

表3 - 2 - 15 国際海上コンテナ（輸出）の規格別割合

	東京港	横浜港	名古屋港	大阪港	神戸港
20ft	27.3%	32.8%	27.3%	39.9%	35.4%
40ft他	72.7%	67.2%	72.7%	60.1%	64.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資料：各港の港湾統計による（20フィートコンテナ換算個数ベース）
東京港は輸出入合計での割合

が32.9%であり、概ね1：1の比率である（図3-2-13）。ちなみに、港湾統計による5大港実績をみると、20フィートと40フィート他の比率は、概ね1：2となっている（表3-2-15）。

コンテナ利用率を発産業別にみると、倉庫業(5.4%)が最も高く、次いで製造業(2.0%)となっている。利用コンテナの規格をみると、倉庫業では国際海上コンテナの利用が64.1%を占めている（図3-2-14）。

コンテナ利用率を品類別にみると、軽工業品(6.1%)、金属機械工業品(2.9%)、雑工業品(2.7%)、農水産品(1.7%)の順に高くなっている。利用コンテナの規格をみると、軽工業品では、その他コンテナが51.8%を占めているが、金属機械工業品では国際海上コンテナの利用が66.8%となっている（図3-2-15）。

図3-2-14 発産業別コンテナ利用率（重量ベース）

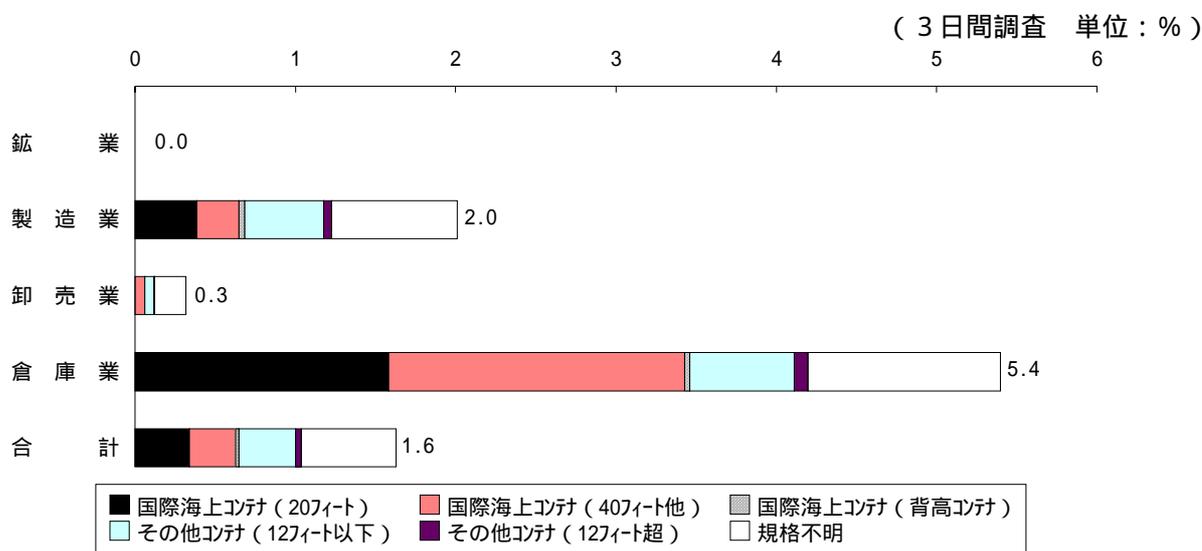
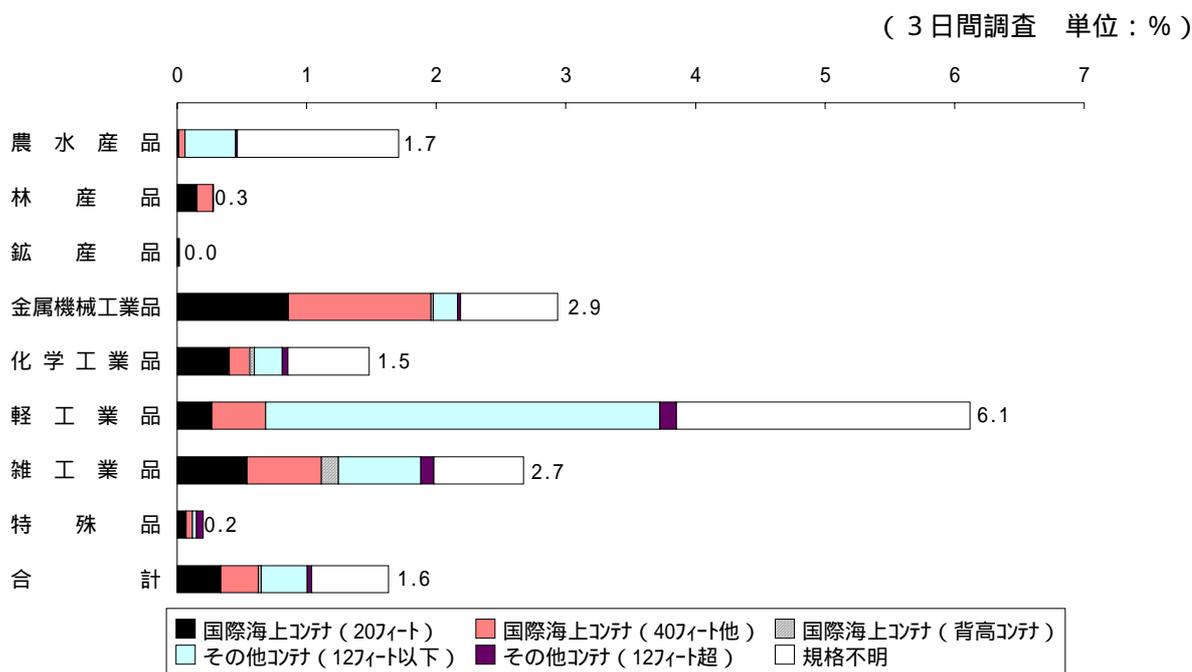


図3-2-15 品類別コンテナ利用率（重量ベース）



(6) 高速道路利用状況

純流動調査における「高速道路」とは、高速自動車国道、都市高速道路、本四連絡橋および一部の有料道路（京葉道路、第二神明道路など）のことを指す。

代表輸送機関がトラックである場合について、高速道路（利用距離の長短を問わない）の利用率をみると、トラック計では重量ベースで11.5%、件数ベースで17.3%である。細分類でみると、宅配便等混載の利用率が最も高く（重量ベース：25.2%、件数ベース：29.5%）、次いで一車貸切（トレーラーを含む）となる。一方、自家用トラックは、近距離輸送の比率が高いこともあり、営業用トラックに比べて低い利用率になっている（図3-2-16）。

95年調査と比較すると（重量ベース）、トラック計では高速道路利用率はほとんど変化がない。細分類でみると、宅配便等混載は1.8ポイント利用率が高まっているが、一車貸切、自家用トラックでは低下している（図3-2-17）。

また、県間流動（全流動量から県内流動量を除いたもの）に限定して高速道路の利用率（重量ベース）をみると、トラック計では31.2%であり、全流動量でみた場合に比べ約20ポイント利用率が高まっている。細分類でみると、宅配便等混載の利用率が最も高い（36.7%）が、一車貸切も30%以上の利用率である。

95年調査と比較すると、一車貸切の利用率はほとんど変化がないものの、宅配便等混載では4.1ポイント、自家用トラックでは0.7ポイント利用率がアップしている。

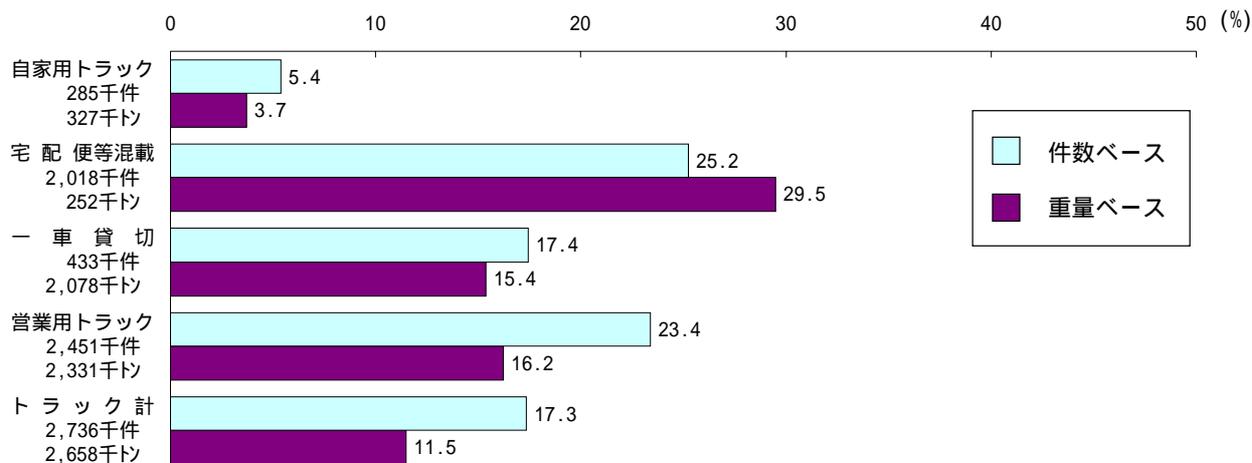
高速自動車国道の供用延長は、95年調査時点の約5,800kmから約6,700km（2000年調査時点）に伸びているが（表3-2-16）、本調査では宅配便等混載については利用率が高まっているものの、一車貸切については県間流動においても利用率に大きな変化はみられないという結果になっている。

表3-2-16 高速自動車国道の供用延長の推移

	供用延長 (km)	伸び率
85年10月調査時点	3,667.3	-
90年10月調査時点	4,683.5	27.7%
95年10月調査時点	5,814.9	24.2%
2000年10月調査時点	6,739.9	15.9%

図 3 - 2 - 16 高速道路利用率と利用量

(3日間調査 単位：千件,千トン,%)

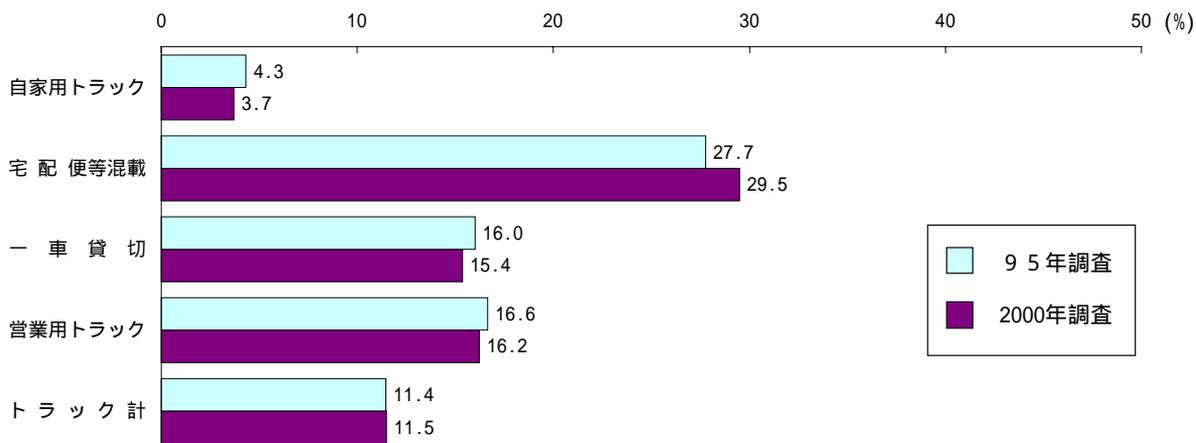


注：輸送機関名下のトン数、件数は高速道路利用量

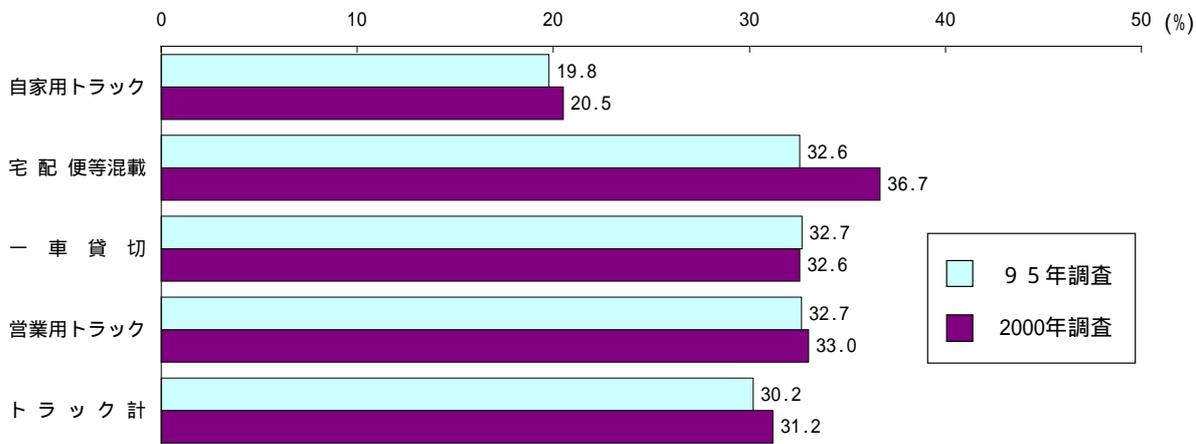
図 3 - 2 - 17 高速道路利用率の推移 (重量ベース)

(3日間調査 単位：%)

【全貨物における高速道路利用率】



【県間流動貨物における高速道路利用率】



一方、道路交通センサスの結果によると、高速道路における貨物車の走行台キロが、94年調査 99年調査で9.4%伸びており、また、全走行台キロに占める高速利用の割合も上昇しているが、都市高速道路に限定すると、走行台キロは12.2%減少している(表3-2-17)。

そこで、首都圏内々流動および阪神圏内々流動と、その他流動に分けて高速道路利用率をみると、首都圏・阪神圏内々流動では利用率が低下しているが、その他流動では利用率が高まっている(表3-2-18)。純流動調査では、高速道路の利用距離を調査していないため、一概には比較できないものの、純流動調査と道路交通センサスとは、概ね同様な傾向が示されている。

なお、発都道府県別に高速道路の利用率(重量ベース)をみると、静岡、兵庫、大阪、神奈川、滋賀など、東名・名神高速道路の沿線及び周辺地域を発県とする貨物において、比較的利用率が高いという傾向がみられる(表3-2-19)。

表3-2-17 道路種別別貨物車の走行台キロの推移

(単位：千台キロ/日)

	94年調査			99年調査			
	延長 (km)	走行台キロ	構成比	延長 (km)	走行台キロ	構成比	増減率
高速自動車国道	5,568	78,590	13.1%	6,457	89,923	15.8%	14.4%
都市高速道路	491	18,198	3.0%	604	15,979	2.8%	-12.2%
(小計)	6,058	96,788	16.1%	7,061	105,902	18.6%	9.4%
一般道路	176,700	504,922	83.9%	180,972	463,848	81.4%	-8.1%
合計	182,758	601,710	100.0%	188,033	569,750	100.0%	-5.3%

資料：道路交通センサスによる

表3-2-18 流動パターン別の高速道路利用率の推移(重量ベース)

		95年	2000年	増減
首都圏及び阪神圏 内々流動	県内流動を含む	12.6%	11.6%	-1.0%
	県間流動	29.5%	24.7%	-4.7%
その他流動	県内流動を含む	11.1%	11.4%	0.3%
	県間流動	30.3%	32.4%	2.1%
合計	県内流動を含む	11.4%	11.5%	0.1%
	県間流動	30.2%	31.2%	1.0%

注：首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)
阪神圏(大阪府、兵庫県)

表3 - 2 - 19 発都道府県別にみた代表輸送機関別高速道路利用率（重量ベース）

（3日間調査 単位：%）

発県	自家用トラック		宅配便等混載		一車貸切		トラック（計）		95年：トラック（計）	
		県間流動		県間流動		県間流動		県間流動		県間流動
北海道	0.8%	0.0%	3.9%	9.2%	0.6%	6.2%	0.7%	6.8%	1.3%	7.6%
青森	0.2%	3.8%	51.7%	53.1%	5.6%	21.0%	5.0%	24.4%	7.3%	41.4%
岩手	2.1%	12.2%	36.1%	47.5%	4.8%	14.0%	4.2%	15.3%	4.4%	17.8%
宮城	4.3%	6.4%	19.3%	25.4%	6.8%	21.7%	6.7%	21.2%	4.4%	11.2%
秋田	0.0%	2.8%	26.0%	32.7%	4.3%	14.5%	2.0%	15.3%	4.9%	22.8%
山形	0.2%	19.8%	25.1%	27.3%	6.9%	11.9%	4.3%	13.3%	3.0%	16.7%
福島	1.6%	21.1%	31.3%	41.7%	9.4%	20.1%	6.5%	21.5%	6.1%	16.1%
茨城	5.5%	42.9%	20.3%	22.4%	18.4%	24.6%	15.3%	25.5%	14.2%	28.1%
栃木	0.4%	1.0%	22.0%	23.7%	12.4%	20.9%	5.4%	12.7%	5.5%	9.3%
群馬	7.7%	37.2%	19.3%	22.8%	8.4%	16.0%	8.2%	24.4%	4.7%	9.4%
埼玉	5.8%	10.2%	26.4%	33.0%	14.9%	25.2%	12.5%	21.9%	11.7%	20.0%
千葉	5.4%	27.4%	32.4%	37.2%	17.8%	26.8%	14.7%	27.2%	15.7%	34.9%
東京	7.2%	23.5%	29.2%	41.4%	18.6%	25.4%	14.7%	26.8%	19.9%	41.9%
神奈川	4.0%	27.3%	37.2%	42.7%	21.2%	43.4%	16.9%	42.3%	19.0%	41.7%
新潟	1.1%	26.8%	39.8%	45.5%	14.7%	36.3%	8.9%	37.2%	6.7%	28.0%
富山	1.9%	18.7%	20.0%	21.6%	5.1%	21.3%	5.1%	21.2%	2.8%	11.7%
石川	1.7%	33.2%	25.5%	28.9%	18.1%	32.9%	9.1%	32.4%	8.7%	24.1%
福井	0.7%	13.2%	23.1%	30.9%	7.9%	12.4%	4.7%	14.0%	7.4%	26.9%
山梨	2.9%	14.9%	31.6%	30.8%	16.4%	51.7%	9.3%	39.2%	6.0%	16.5%
長野	6.4%	12.3%	33.1%	40.7%	18.2%	47.6%	10.5%	41.4%	4.6%	31.1%
岐阜	3.8%	15.0%	30.6%	33.8%	18.6%	39.7%	11.9%	31.4%	15.1%	43.7%
静岡	4.9%	42.9%	36.9%	46.3%	28.9%	56.8%	20.8%	54.5%	18.9%	46.2%
愛知	1.9%	9.4%	24.7%	34.9%	16.3%	39.4%	11.8%	35.6%	14.0%	35.0%
三重	3.9%	16.7%	27.3%	29.3%	13.5%	25.2%	10.0%	23.4%	11.1%	23.2%
滋賀	1.3%	14.6%	34.2%	38.4%	32.2%	46.5%	17.4%	43.1%	12.4%	37.8%
京都	10.3%	29.7%	39.1%	48.9%	21.6%	33.3%	16.0%	33.4%	12.3%	27.1%
大阪	5.2%	23.5%	30.3%	37.2%	33.4%	47.7%	25.8%	43.5%	26.1%	37.7%
兵庫	7.8%	26.1%	38.5%	42.4%	32.7%	57.6%	24.5%	52.0%	17.6%	48.7%
奈良	3.3%	31.0%	23.7%	24.1%	39.4%	50.5%	19.7%	43.6%	17.8%	48.7%
和歌山	5.3%	46.7%	43.5%	44.6%	30.6%	58.8%	20.3%	56.8%	17.1%	39.8%
鳥取	0.0%	0.0%	31.6%	33.7%	15.1%	25.0%	10.0%	25.0%	5.3%	24.8%
島根	0.7%	22.9%	27.7%	39.2%	4.3%	18.6%	3.1%	21.3%	5.0%	22.5%
岡山	4.1%	33.4%	34.1%	39.3%	13.1%	24.3%	11.5%	25.5%	10.0%	28.3%
広島	5.6%	45.1%	31.6%	34.8%	5.2%	20.3%	6.3%	23.6%	4.9%	22.5%
山口	5.0%	43.5%	24.4%	27.1%	9.1%	22.1%	8.4%	23.8%	6.1%	17.1%
徳島	3.0%	54.0%	44.2%	50.0%	28.3%	47.1%	14.5%	48.3%	12.9%	47.9%
香川	3.7%	42.7%	25.3%	26.9%	20.2%	44.1%	13.7%	41.5%	9.0%	20.5%
愛媛	1.2%	36.1%	43.4%	49.5%	14.0%	39.4%	8.0%	40.2%	13.1%	51.2%
高知	2.4%	31.3%	44.5%	51.5%	6.6%	38.5%	5.3%	38.5%	2.4%	27.2%
福岡	3.6%	40.6%	31.5%	40.3%	9.6%	23.8%	7.7%	28.6%	9.1%	21.6%
佐賀	1.1%	10.2%	28.4%	30.2%	13.7%	29.1%	11.1%	28.1%	13.1%	35.2%
長崎	0.5%	8.1%	47.9%	55.8%	5.0%	24.0%	4.2%	30.2%	5.8%	34.2%
熊本	0.9%	3.7%	32.7%	54.2%	9.6%	20.0%	5.5%	19.4%	9.7%	30.7%
大分	1.6%	0.9%	18.0%	20.2%	1.0%	4.2%	1.4%	4.9%	2.7%	10.2%
宮崎	0.0%	0.2%	29.7%	34.8%	3.7%	14.1%	1.8%	16.0%	2.9%	14.6%
鹿児島	1.3%	38.0%	35.0%	47.8%	7.8%	20.9%	5.3%	23.0%	1.3%	14.5%
沖縄	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	1.0%	2.9%
合計	3.7%	20.5%	29.5%	36.7%	15.4%	32.6%	11.5%	31.2%	11.4%	30.2%

(7) 輸送施設利用状況

1) 鉄道コンテナ利用貨物の背後圏

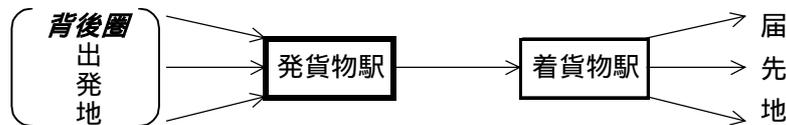
首都圏および近畿圏における主要な鉄道コンテナ貨物取扱駅である東京貨物ターミナル、隅田川駅、大阪貨物ターミナル、梅田駅について、取扱貨物の背後圏をみると、東京貨物ターミナル、隅田川駅では、首都圏各県（東京、神奈川、千葉、埼玉）が主な背後圏となっている。東京貨物ターミナルでは、群馬、茨城、栃木など北関東各県まで背後圏が広がっているものの、東京発着貨物の割合が高い。また、隅田川駅も東京、千葉発着貨物が約90%を占めている。一方、大阪貨物ターミナル、梅田駅においても、発着ともに地元大阪発着貨物の占める割合が80%以上であり、背後圏は比較的限定されている（表3-2-20）。

このように、首都圏および近畿圏の主要ターミナルにおいても、背後圏の広がりがみられないのは、隣接する県にも鉄道コンテナを取り扱う貨物駅が配置されているためと推察される。

表3-2-20 主要鉄道貨物駅における鉄道コンテナ利用貨物の背後圏

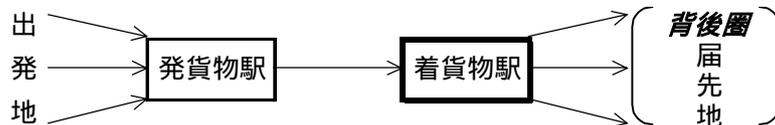
(3日間調査 単位：トン，%)

【発貨物駅の背後圏】



東京貨物ターミナル		隅 田 川		大阪貨物ターミナル		梅 田	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京	44.9%	千葉	64.1%	大阪	94.7%	大阪	82.5%
神奈川	23.1%	東京	24.4%	兵庫	3.8%	兵庫	10.3%
群馬	10.6%	山梨	3.3%	和歌山	0.7%	奈良	5.1%
埼玉	10.3%	埼玉	3.3%	他府県	0.8%	他府県	2.1%
茨城	5.8%	神奈川	3.0%				
他府県	5.4%	他府県	2.0%				
発量計	2,593ト	発量計	1,319ト	発量計	4,954ト	発量計	5,873ト

【着貨物駅の背後圏】



東京貨物ターミナル		隅 田 川		大阪貨物ターミナル		梅 田	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京	62.6%	東京	82.7%	大阪	93.7%	大阪	85.0%
埼玉	14.9%	千葉	11.1%	兵庫	4.4%	新潟	4.2%
千葉	12.8%	埼玉	5.3%	滋賀	1.0%	兵庫	3.9%
神奈川	3.9%	神奈川	0.9%	他府県	0.9%	他府県	6.9%
栃木	3.1%						
他府県	2.7%						
着量計	7,880ト	着量計	7,476ト	着量計	5,994ト	着量計	3,668ト

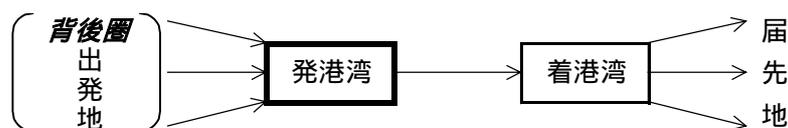
2) フェリー利用貨物の背後圏

主要なフェリー港湾についてフェリー利用貨物の背後圏をみると、塩釜港では宮城など東北南部の各県が主な背後圏となっている。東京港、大洗港では関東各県が主な背後圏となっている。東京港では、このうち首都圏各県（東京、神奈川、千葉、埼玉）発着貨物の占める割合が高いが、大洗港では地元茨城発着貨物の割合が比較的高くなっている。北海道航路を有する新潟港では、地元新潟発着貨物の割合が高いものの、他の北陸各県や中部、関東にまで背後圏が広がっている。同じく北海道航路を有する敦賀港では、近畿と北海道を結ぶ太平洋側航路がないこともあって近畿発着貨物の割合が高く、このほか北陸、中部の利用もみられるなど背後圏は広域化している。大阪港、神戸港は、四国、九州航路の拠点港湾であることから、近畿のほか中部、関東など近畿以東に背後圏が広がっている。宇野港は、地元岡山の発着貨物の割合が高いものの、本州などと四国を結ぶ主要航路であることから、背後圏は広域化している。北九州港は、北部九州を中心とした背後圏となっており、とりわけ地元福岡発着貨物の割合が60%を超えている（表3-2-21）。

表3 - 2 - 21 主要フェリー港湾におけるフェリー利用貨物の背後圏

(3日間調査 単位：トン，%)

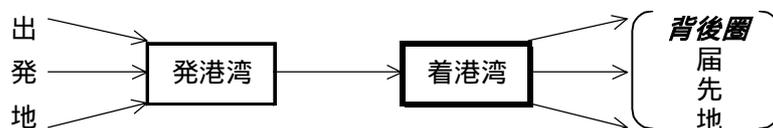
【発港湾の背後圏】



仙台塩釜港		大洗港		東京港		新潟港		敦賀港	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
山形	50.3%	茨城	25.1%	神奈川	34.0%	新潟	61.8%	大阪	27.4%
宮城	39.9%	千葉	20.7%	千葉	17.3%	石川	14.3%	岐阜	25.7%
福島	6.7%	栃木	19.8%	埼玉	15.8%	千葉	9.7%	石川	18.3%
岩手	1.7%	埼玉	11.7%	東京	15.4%	静岡	4.8%	滋賀	9.8%
栃木	1.2%	神奈川	11.0%	茨城	5.0%	群馬	1.5%	兵庫	6.1%
他府県	0.2%	他府県	11.7%	他府県	12.5%	他府県	7.9%	他府県	12.7%
発量計	5,954ト	発量計	7,262ト	発量計	8,174ト	発量計	10,556ト	発量計	2,417ト

大阪港		神戸港		宇野港		北九州港	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
大阪	47.8%	兵庫	44.3%	岡山	52.0%	福岡	65.0%
兵庫	14.2%	埼玉	14.9%	埼玉	12.3%	佐賀	14.9%
愛知	13.6%	大阪	12.2%	兵庫	8.7%	山口	6.7%
神奈川	3.7%	富山	6.5%	大阪	5.7%	熊本	5.4%
京都	3.3%	静岡	4.4%	愛知	3.5%	長崎	4.6%
他府県	17.3%	他府県	17.8%	他府県	17.8%	他府県	3.4%
発量計	16,313ト	発量計	16,851ト	発量計	23,840ト	発量計	24,001ト

【着港湾の背後圏】



仙台塩釜港		大洗港		東京港		新潟港		敦賀港	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
宮城	74.8%	東京	33.8%	東京	26.7%	新潟	38.2%	兵庫	28.9%
岩手	7.4%	茨城	11.5%	埼玉	24.6%	富山	37.7%	大阪	21.6%
福島	4.3%	埼玉	11.5%	神奈川	13.3%	長野	6.6%	愛知	17.3%
秋田	3.4%	千葉	11.2%	茨城	7.1%	千葉	3.0%	岐阜	8.9%
新潟	3.0%	神奈川	8.8%	千葉	6.9%	大阪	2.9%	福井	7.9%
他府県	7.2%	他府県	23.1%	他府県	21.3%	他府県	11.6%	他府県	15.3%
着量計	4,378ト	着量計	5,668ト	着量計	7,273ト	着量計	1,484ト	着量計	4,117ト

大阪港		神戸港		宇野港		北九州港	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
大阪	30.8%	大阪	32.0%	岡山	23.2%	福岡	77.2%
愛知	14.7%	兵庫	30.4%	大阪	9.6%	佐賀	14.4%
兵庫	12.4%	滋賀	10.3%	兵庫	9.3%	長崎	5.1%
滋賀	7.6%	愛知	6.6%	愛知	8.4%	熊本	1.5%
静岡	5.6%	埼玉	3.6%	広島	7.8%	大分	1.1%
他府県	28.9%	他府県	17.2%	他府県	41.8%	他府県	0.7%
着量計	16,746ト	着量計	16,436ト	着量計	17,576ト	着量計	41,298ト

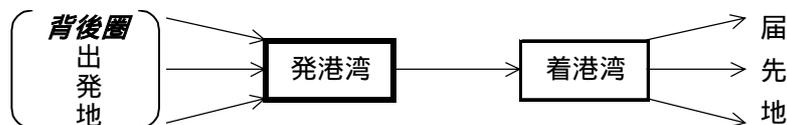
3) 内航コンテナ船・RORO船利用貨物の背後圏

内航コンテナ船およびRORO船航路を有する主要港湾について、取扱貨物の背後圏をみると、仙台塩釜港では発貨物はのほとんどが宮城発の貨物であるが、着貨物は背後圏が東北全域に広がっている。東京港、千葉港では、東京、千葉を中心とした関東各県が主な背後圏となっている。また、東京港についてフェリー貨物と比較すると、貨物は特定の県に集中する傾向がうかがえ、また、発貨物では輸出コンテナ貨物よりも背後圏は狭い傾向にある。大阪港発着貨物や堺泉北港の発貨物では、大阪と兵庫の貨物の占める割合が高く、この2県発着貨物が80%以上を占めるなど背後圏は狭いといえる。博多港は、九州全域を背後圏としているものの、地元福岡発着貨物の割合が60%以上を占めている(表3-2-22)。

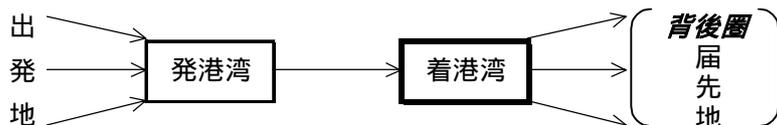
このように内航貨物の背後圏が、港湾の所在する県および近隣県に概ね限定されるのは、外貿コンテナ貨物と異なり、鉄道、トラックという競合する輸送機関が存在することが一因として考えられる。

表3-2-22 主要港湾内航コンテナ船・RORO船利用貨物の背後圏(その1)

【発貨物の背後圏】



【着貨物の背後圏】



(3日間調査 単位:トン,%)

仙台塩釜港						千葉港								
発貨物			着貨物			発貨物			着貨物					
背後圏	届先地	構成比	背後圏	出発地	構成比	背後圏	届先地	構成比	背後圏	出発地	構成比			
宮城	計	92.1%	福島	兵庫	28.4%	千葉	計	43.9%	東京	計	75.2%			
	北海道	46.0%		宮城	計		27.0%	大阪		北海道	75.2%	北海道	北海道	75.2%
	東京	21.3%			群馬		10.9%			その他	その他		0.0%	その他
	滋賀	12.4%			兵庫	10.5%	群馬	計	42.3%		千葉	計	14.2%	
	大阪	7.5%		和歌山	5.5%	岩手		岩手	14.6%	山口		山口	11.7%	
	その他	4.9%		岩手	計		22.6%	宮城	宮城		12.3%	その他	その他	2.5%
岩手	兵庫	7.4%	群馬		13.0%	山形	山形		9.4%	埼玉	兵庫		6.0%	
山形	神奈川	0.5%	大阪	9.5%	その他		その他	5.9%	茨城		計	4.6%		
			山形	計		8.4%	茨城	山口		13.9%				
			他府県	計	13.7%									
発量計		2,499ト	着量計		613ト	発量計		545ト	着量計		3,266ト			

表3 - 2 - 22 主要港湾内航コンテナ船・RORO船利用貨物の背後圏（その2）

（3日間調査 単位：トン，％）

東京港						大阪港					
発貨物			着貨物			発貨物			着貨物		
背後圏	届先地	構成比	背後圏	出発地	構成比	背後圏	届先地	構成比	背後圏	出発地	構成比
千葉	計	36.6%	東京	計	46.7%	兵庫	計	44.3%	大阪	計	81.2%
	福岡	10.6%		北海道	35.4%		福岡	11.7%		北海道	59.2%
	北海道	8.5%		宮崎	3.5%		北海道	11.1%		宮崎	7.6%
	鹿児島	5.9%		宮城	3.0%		神奈川	4.0%		広島	6.4%
	佐賀	4.9%		その他	4.8%		埼玉	3.8%		千葉	3.7%
	その他	6.7%		埼玉	計		23.3%	福島		3.4%	その他
神奈川	計	30.1%	埼玉	北海道	20.4%	大阪	計	37.8%	兵庫	計	6.1%
	北海道	19.5%		その他	2.9%		沖縄	31.6%		岩手	3.5%
	福岡	5.7%		神奈川	計		10.2%	北海道		4.2%	その他
その他	4.9%	北海道	7.4%		その他	1.9%	滋賀	計	5.9%		
東京	計	12.8%	愛知	北海道	7.8%	和歌山		計	5.2%	岡山	宮城
	福岡	6.4%		群馬	北海道		3.8%	北海道	4.5%		宮崎
群馬	計	8.7%	他府県		計	8.3%	他府県	計	12.7%	他府県	計
	計	3.2%									
他府県	計	8.5%									
発量計		6,236ト	着量計		17,945ト	発量計		5,067ト	着量計		5,319ト

堺泉北港						博多港					
発貨物			着貨物			発貨物			着貨物		
背後圏	届先地	構成比	背後圏	出発地	構成比	背後圏	届先地	構成比	背後圏	出発地	構成比
大阪	北海道	72.8%	大阪	北海道	30.4%	福岡	計	71.6%	福岡	計	65.5%
	兵庫	24.1%		広島	26.0%		沖縄	64.0%		千葉	15.0%
	広島	1.9%		沖縄	21.3%		千葉	4.6%		兵庫	13.5%
	滋賀	1.2%		京都	7.8%		その他	3.0%		東京	9.1%
			福岡	北海道	5.2%	山口	計	14.3%	神奈川	計	8.0%
			他府県	北海道	9.3%		沖縄	13.4%		群馬	6.8%
							その他	0.9%		その他	13.1%
						大分	計	6.0%	佐賀	計	13.8%
						佐賀	沖縄	5.7%		千葉	6.9%
						熊本	計	2.3%		その他	6.9%
										鹿児島	計
									熊本	計	6.1%
									他府県	計	5.8%
発量計		2,047ト	着量計		1,465ト	発量計		2,377ト	着量計		4,413ト

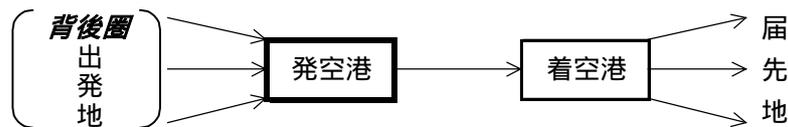
4) 国内航空貨物の背後圏

国内の主要6空港について、国内航空貨物の背後圏をみると、東京国際空港は関東圏で唯一の国内空港であるため、発着貨物ともに東京、神奈川の上位2県で約60%を占めるにとどまり、他の5空港に比較すると背後圏は関東各県を中心に広域化している。大阪国際空港、関西国際空港も、近畿圏を中心に背後圏は広い傾向にあるものの、地元大阪発着貨物の割合が高く、東京国際空港ほどの広がりを見せていない。一方、名古屋空港は中京圏で唯一の空港でありながら、東京国際空港と大阪国際空港及び関西国際空港の中間に位置することもあり、愛知を中心とした地域に背後圏が限定されている。また、福岡空港、仙台空港では、隣接する県にも空港が配置されていることもあり、地元福岡、宮城を中心とした地域に背後圏が限定されている(表3-2-23)。

表3-2-23 主要空港における国内航空貨物の背後圏

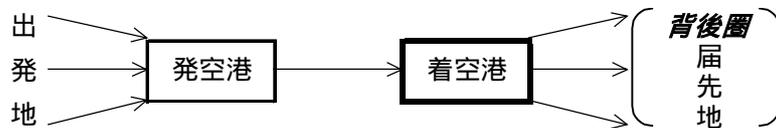
(3日間調査 単位:トン,%)

【発空港の背後圏】



東京国際空港		名古屋空港		大阪国際空港		関西国際空港		福岡空港		仙台空港	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京	45.6%	愛知	61.3%	大阪	77.4%	大阪	64.9%	福岡	73.0%	宮城	56.1%
神奈川	14.8%	岐阜	13.8%	兵庫	9.3%	兵庫	21.4%	山口	16.1%	岩手	33.8%
千葉	8.4%	静岡	11.9%	京都	2.9%	奈良	12.4%	佐賀	5.9%	福島	10.1%
山形	7.4%	三重	11.5%	滋賀	2.4%	京都	0.4%	長崎	3.0%		
埼玉	6.2%	長野	1.5%	岡山	1.5%	和歌山	0.4%	大分	0.9%		
他府県	17.7%			他府県	6.5%	他府県	0.5%	他府県	1.1%		
発量計	658ト	発量計	82ト	発量計	392ト	発量計	20ト	発量計	185ト	発量計	4ト

【着空港の背後圏】



東京国際空港		名古屋空港		大阪国際空港		関西国際空港		福岡空港		仙台空港	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京	32.3%	愛知	65.0%	大阪	43.9%	大阪	68.7%	福岡	82.5%	宮城	82.3%
神奈川	24.8%	静岡	20.7%	兵庫	18.1%	兵庫	11.4%	山口	5.4%	青森	12.0%
千葉	16.1%	岐阜	10.4%	京都	7.5%	岡山	4.8%	佐賀	3.9%	福島	5.2%
埼玉	7.3%	三重	1.5%	滋賀	6.7%	京都	3.9%	長崎	2.0%	岩手	0.6%
長野	2.8%	滋賀	0.9%	広島	4.3%	愛知	3.5%	熊本	1.9%		
他府県	16.7%	他府県	1.4%	他府県	19.5%	他府県	7.6%	他府県	4.2%		
着量計	447ト	着量計	41ト	着量計	106ト	着量計	46ト	着量計	115ト	着量計	11ト

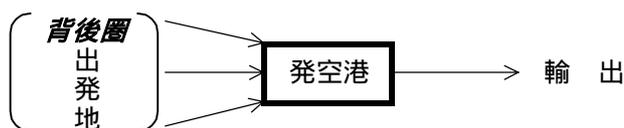
5) 国際航空貨物の背後圏

主要な国際空港について国際航空貨物（輸出貨物）の背後圏をみると、国内空港に比べて背後圏が広域化している傾向がうかがえる。新東京国際空港では、東京、神奈川など関東各県発貨物のウェイトが高いが、関東以外の県も4県（長野、愛知、福島、岐阜）が貨物量の上位10位以内に位置している。関西国際空港も、近畿圏発の貨物が中心であるものの、四国、中部、北陸発の貨物の割合も高くなっている。一方、名古屋空港は、愛知、長野、岐阜発の貨物で全体の85.2%を占めており、東京国際空港、関西国際空港と比較すると、背後圏の広がりはみられない。また、福岡空港は、そのほとんどを九州発の貨物であり、うち43.3%を福岡発の貨物が占めている（表3-2-24）。

表3-2-24 主要空港における国際航空貨物の背後圏

（3日間調査 単位：トン，％）

【発空港の背後圏】



新東京国際空港		関西国際空港		名古屋空港		福岡空港	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京	19.5%	兵庫	16.5%	愛知	43.3%	福岡	43.3%
神奈川	10.8%	京都	16.2%	長野	21.7%	佐賀	21.7%
長野	10.2%	和歌山	14.2%	岐阜	20.2%	宮崎	20.2%
愛知	8.3%	大阪	9.1%	滋賀	9.5%	鹿児島	9.5%
埼玉	6.8%	愛媛	8.1%	香川	2.4%	大分	2.4%
福島	5.5%	滋賀	5.9%	山梨	1.5%	熊本	1.5%
岐阜	5.2%	愛知	5.8%	三重	0.9%	長崎	0.9%
栃木	4.0%	福井	5.7%	兵庫	0.3%	岐阜	0.3%
山梨	3.5%	岐阜	4.8%	石川	0.1%		
茨城	3.4%	高知	3.3%	静岡	0.0%		
他府県	22.7%	他府県	10.2%				
発量計	3,942ト	発量計	2,730ト	発量計	193ト	発量計	40ト

6) 物流ターミナル・卸売市場の流動量

流通業務団地やトラックターミナルなどの物流ターミナルを経由する流動において、最も流動量の多いのは葛西流通業務団地であり、以下、小牧トラックターミナル、東大阪流通業務団地、京浜二区流通業務団地、足立流通業務団地、北大阪流通業務団地の順である。このように、首都圏、近畿圏、中京圏の主要ターミナルが上位に位置しており、また、量的をみてもこれら三大都市圏のターミナルにおける流動量は、他の地域のターミナルよりも大幅に多くなっている。

一方、卸売市場への流動量をみると、東京都中央卸売市場築地市場が圧倒的に多くなっており、卸売市場への全流動量の44.4%を占めている。以下、流動量の多い2位から5位までも、やはり三大都市圏の中央卸売市場が占めている(表3-2-25)。

次に、主要な物流ターミナル貨物の背後圏をみると、東京の4ターミナルでは概ね東京都23区内(特にターミナルが立地している地域)が中心となっているが、京浜二区流通業務団地(平和島)では神奈川、板橋流通業務団地および足立流通業務団地では埼玉、葛西流通業務団地では千葉のウェイトも高く、背後圏は隣接県へと広がっている。一方、東大阪流通業務団地と小牧トラックターミナルでは、地元の大阪、愛知を中心とした背後圏となっている(表3-2-26)。

表3-2-25 物流ターミナル・卸売市場の流動量(上位20位)

(3日間調査 単位:トン)

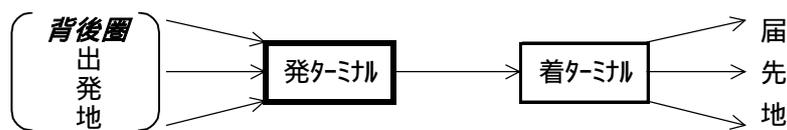
順位	ターミナル名	流動量	順位	卸売市場名	流動量
1	葛西流通業務団地	5,923	1	東京都中央卸売市場築地市場	10,636
2	小牧トラックターミナル	5,413	2	東京都中央卸売市場足立市場	2,162
3	東大阪流通業務団地	4,303	3	大阪市中央卸売市場本場	1,575
4	京浜二区流通業務団地	3,065	4	大阪府中央卸売市場	968
5	足立流通業務団地	2,713	5	名古屋市中央卸売市場本場	952
6	北大阪流通業務団地	2,496	6	京都市中央卸売市場第一市場	923
7	大谷地流通業務団地	2,054	7	呉市中央卸売市場	635
8	板橋流通業務団地	1,519	8	横浜市中央卸売市場南部市場	547
9	仙台流通業務団地	1,238	9	大阪市中央卸売市場東部市場	488
10	大阪南港トラックターミナル	792	10	奈良県中央卸売市場	477
11	越谷流通業務団地	731	11	大分市中央卸売市場	455
12	岡山県トラックターミナル	710	12	東京都中央卸売市場大田市場	345
13	福岡流通センター	623	13	広島市中央卸売市場東部市場	345
14	東京ア-カーゴターミナル	512	14	広島市中央卸売市場	332
15	四日市トラックターミナル	510	15	船橋市中央卸売市場	267
16	岩手流通センター	480	16	福岡市中央卸売市場鮮魚市場	245
17	広島西部流通センター	417	17	姫路市中央卸売市場	209
18	鳥栖トラックターミナル	347	18	横浜市中央卸売市場本場	172
19	仙台トラックターミナル	304	19	静岡中央卸売市場	170
20	藤前流通業務団地	277	20	千葉市中央卸売市場	154
	合計	142,947		合計	28,311

注:複数の施設を経由している場合は重複計上

表3 - 2 - 26 主要な物流ターミナルの背後圏

(3日間調査 単位：トン，%)

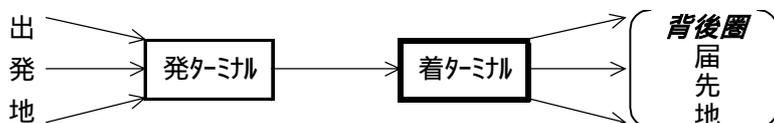
【発ターミナルの背後圏】



京浜二区流通業務団地		板橋流通業務団地		足立流通業務団地	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京城南地域	36.1%	東京城北地域	59.9%	東京城東地域	65.7%
東京城北地域	30.4%	埼玉	18.2%	埼玉	22.6%
神奈川	23.4%	東京副都心	8.9%	東京城北地域	8.5%
東京都心	8.2%	東京城東地域	6.8%	東京城南地域	1.6%
千葉	1.2%	東京都心	5.3%	群馬	0.8%
他地域	0.6%	他地域	0.8%	他地域	0.8%
発量計	2,107ト	発量計	1,066ト	発量計	1,858ト

葛西流通業務団地		東大阪流通業務団地		小牧トラックターミナル	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京城東地域	50.9%	大阪	89.8%	愛知	76.6%
千葉	41.9%	奈良	7.8%	岐阜	22.7%
東京城南地域	5.6%	滋賀	1.6%	静岡	0.8%
東京都心	1.3%	兵庫	0.7%	長野	0.0%
神奈川	0.2%	和歌山	0.1%		
他地域	0.2%				
発量計	5,584ト	発量計	3,610ト	発量計	4,443ト

【着ターミナルの背後圏】



京浜二区流通業務団地		板橋流通業務団地		足立流通業務団地	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京城南地域	33.0%	埼玉	56.0%	東京城東地域	30.8%
東京副都心	11.6%	東京城北地域	24.2%	埼玉	25.7%
東京城東地域	11.6%	東京城東地域	4.8%	東京城南地域	17.4%
埼玉	11.1%	東京副都心	4.4%	東京城北地域	10.5%
千葉	7.4%	茨城	3.6%	東京副都心	5.7%
他地域	25.3%	他地域	7.0%	他地域	9.9%
着量計	1,000ト	着量計	491ト	着量計	855ト

葛西流通業務団地		東大阪流通業務団地		小牧トラックターミナル	
背後圏	構成比	背後圏	構成比	背後圏	構成比
東京城東地域	78.9%	大阪	92.3%	愛知	87.2%
千葉	9.0%	兵庫	5.5%	岐阜	6.2%
東京城西地域	6.8%	奈良	1.2%	三重	5.0%
東京都心	1.5%	和歌山	0.4%	静岡	1.1%
埼玉	1.1%	京都	0.4%	長野	0.5%
他地域	2.7%	滋賀	0.1%		
着量計	1,452ト	着量計	682ト	着量計	1,175ト

注) 東京都心 : 千代田区、中央区、港区
 東京副都心 : 新宿区、渋谷区、文京区、豊島区
 東京城西地域 : 世田谷区、中野区、杉並区、練馬区
 東京城南地域 : 目黒区、品川区、大田区
 東京城東地域 : 台東区、墨田区、江東区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川
 東京城北地域 : 北区、板橋区
 ・東京都23区内の地域区分は「東京の産業と労働」(東京都)に基づく